

Windows版

取扱説明書





ご使用上の注意

本ソフトウェアの用途について

本ソフトウェアは、OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。以下のような、極めて高い 信頼性や安全性が要求される機器、用途には使用しないでください。

- ・ 人命に直接かかわる医療機器。
- 人身の損傷に至る可能性のある用途。(航空機、船舶、鉄道、エレベータなどの運行、運転、制御などに 直接関連する用途)
- ・ 車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
- ・ 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。(主要な電子計算機シス テム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)

ソフトウェア使用許諾契約書について

このソフトウェアのダウンロード、インストール又は使用に際しては、次のソフトウェア使用許諾契約書(以下本契約)の内容が適用されることに同意いただく必要があります。ご同意いただけない場合には、このソフトウェアをダウンロードし、コンピュータにインストールし又は使用しないでください。

[ソフトウェア使用許諾契約書]

このソフトウェア使用許諾契約書(以下「本契約」)は、オムロン ソーシアルソリューションズ株式会社(以 下オムロン)がお客様に許諾ソフトウェア(第1項の定義による)を使用許諾する条件を定めたものです。 許諾ソフトウェアのダウンロード、インストール又は使用に際しては、本契約の内容が適用されることに同 意いただく必要があります。

- 1. 本契約において、次の各号に掲げる用語の意味は、当該各号に定めるところによります。
 - (1)「エンドユーザ」とは、オムロン UPS 及び許諾ソフトウェアが組み込まれたお客様製品を自己のもと で使用する最終使用者をいいます。
 - (2)「お客様製品」とは、お客様が製造及び販売する機器又はシステムソフトウェアをいいます。
 - (3) 「オムロン UPS」とは、お客様又はエンドユーザがオムロンから直接又は販売店その他の第三者を通して購入したオムロンの無停電電源装置(UPS)をいいます。
 - (4) 「許諾コンピュータ」とは、1台又は複数のコンピュータであって、お客様又はエンドユーザが所有 し、かつ、1台のオムロン UPS から電源供給を受けているものをいいます。
 - (5)「許諾ソフトウェア」とは、コンピュータ・プログラム「PowerAttendant Lite」及びそれに関連す る一切のドキュメントで当該プログラムとともに配付されるものをいいます。

- オムロンは、お客様に対し、本契約に基づき許諾ソフトウェアに関し次に掲げる非独占的権利を許諾します。
 - (1) オムロン UPS を監視及び管理する目的に限り、一つ又は複数の許諾ソフトウェアの複製物を作成し、 許諾コンピュータにおいて当該複製物を使用する権利。
 - (2) オムロン UPS を監視及び管理する目的に限り、一つ又は複数の許諾ソフトウェアの複製物をオブジェクトコードの形式で作成し、オムロン UPS 及び許諾ソフトウェアを組み込んだお客様製品の一部として直接又は販売店その他の第三者を通してエンドユーザに対しこれを頒布する権利。
 - (3)前号による頒布の目的に限り、ハードディスクドライブのクローニング(複製)のためのマスター・ ハードディスクドライブ(ハードディスクドライブ・イメージを含む)の一部としてオブジェクトコ ード形式で許諾ソフトウェアの複製物を作成する権利
 - (4) バックアップの目的に限り、一つの許諾ソフトウェアの複製物を作成する権利
- 許諾ソフトウェアは、前項により使用許諾されるものであり、許諾ソフトウェアに関する著作権その他の 知的財産権が本契約に基づきお客様に移転することはありません。お客様は、前項に基づき明示的に許諾 されたものを除き、許諾ソフトウェアに関する次に掲げる行為を行うことはできません。
 - (1) 複製又は改変
 - (2) 第三者への再使用許諾、譲渡又は貸与
 - (3) 逆コンパイル、逆アセンブリ、リバースエンジニアリングその他これらに類する行為
 - (4) 外国為替及び外国貿易管理法その他お客様に適用される輸出管理規制に違反する行為
- 4. お客様は、許諾ソフトウェアに含まれる情報を機密として取扱い、第三者へ開示しないものとします。
- 5. お客様が許諾ソフトウェアのライセンスを購入した日又はお客様が許諾ソフトウェアをインストールした日のいずれか早く到来する日から90日以内に許諾ソフトウェアの作動のマニュアルへの重大な不一致があることを発見してオムロンにその旨を通知した場合、オムロンは、当該不一致が当該期間内にお客様から書面で報告され、かつ、再現可能であるときに限り、オムロンの費用負担で当該許諾ソフトウェアを交換し又は当該不一致を修正いたします。

当該交換又は修正によって当該不一致のすべてが除去されるものではありません。

オムロンは、オムロンの選択により、当該交換又は修正に代えてお客様が許諾ソフトウェアを購入するために支払った費用を返金することができます。この場合、この契約は終了します。

上記にかかわらず、当該不一致がお客様又は第三者によるオムロン UPS 若しくは許諾ソフトウェア又はコ ンピュータの不適切な使用又は取扱いにより生じた場合、取扱説明書の指示に従わなかったことにより生 じた場合又は使用されることが意図されていない設備機器とともに使用された場合については、上記の許 諾ソフトウェアの交換又は修正の対象外となります。

さらに、この項の最初の段落にかかわらず、ユーザがオムロン UPS に同梱の記録媒体又はオムロンのウェ ブページからのダウンロードにより許諾ソフトウェアを無償で入手した場合、許諾ソフトウェアは、現状 有姿で提供され、この項は適用されません。

- 前項は、オムロンの許諾ソフトウェアの作動及び不作動に関する責任のすべてを定めるものであり、オムロンは許諾ソフトウェアの作動及び不作動により発生した、お客様の直接的、間接的、あるいは波及効果による損害、特別な事情による損害、逸失利益についての損害に対しては一切の責任を負いません。
- オムロンは、お客様が許諾ソフトウェアを他社のソフトウェアと連携させて使用した場合の許諾ソフトウ ェアの目的適合性、動作性、第三者の知的財産権の非侵害及び合法性については、一切の保証をいたしか ねます。お客様ご自身にてご確認いただき、許諾ソフトウェアのご利用の可否をご判断ください。
- 8. 許諾ソフトウェアの改変並びに逆コンパイル、逆アセンブリ及びリバースエンジニアリングその他のそれ に類する行為により、特許権(実用新案権に基づく権利も含む。以下同じ)、著作権又は営業秘密を侵害 するものとしてオムロンに使用を許諾している第三者又は当該第三者以外からお客様が請求された場合 にはオムロンは責任を負いません。
- オムロンがお客様の損害について責任を負ういかなる場合においても、オムロンの責任はお客様が許諾ソフトウェアにより監視及び管理している無停電電源装置(UPS)の購入代金として支払った金額又は許諾ソフトウェアのライセンスの購入代金として支払った金額のいずれか低い方の金額を超えることはありません。
- お客様が本契約に違反した場合、オムロンはお客様に通知することにより許諾ソフトウェアの使用許諾を 終了させることができます。
 その場合、お客様は許諾ソフトウェア及びそのすべての複製物をオムロンに返却し又は削除しなければな りません。
- 11. 本契約は、日本国法に基づき解釈されるものとします。
- お客様が日本に居住する個人又は日本法に基づき設立された法人の場合には、本契約に関する一切の紛争 については、東京地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。
 その他の場合には、本契約に関する一切の紛争については、一般社団法人日本商事仲裁協会の商事仲裁規 則にしたがって、東京において仲裁により最終的に解決されるものとします。
 仲裁人の裁定は、最終的かつ本契約の当事者を拘束するものとします。
- 13. 本契約は、日本語版で作成されるものとし、英語版は参考訳とします。日本語版の内容と英語版の参考訳 の内容に相違がある場合は、日本語版の内容が優先します。

おことわり

- 1. 本ソフトウェアおよび本書の内容の全部または一部を無断で流用することは固くお断りいたします。
- 2. 本ソフトウェアおよび本書の内容については将来、予告なしに変更する場合があります。
- 本ソフトウェアおよび本書の内容については万全を期しておりますが、万一誤りやお気づきの点がござ いましたら、当社までご連絡くださるようお願いいたします。
- 4. 本書に記載した画面などは、実際のものとは一部異なる場合があります。
- ・ PowerAttendant®はオムロン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または 商標です。
- ・ その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本書の読み方

本書で使用する表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
注意	守っていただきたい事項、操作上の注意を要する事項を記載しています。この記
	載をよくお読みになり、必ず指示に従ってください。
参考	役立つ情報や、ヒントとなる情報を記載しています。また、関連する情報が記載
	されているページや他のマニュアルなどを紹介しています。
本ソフトウェア	「PowerAttendant® Lite」を指します。
[]	画面に表示される項目で、操作対象のもの(クリックできるボタン類)を表しま
	す。
	(例)[次へ] ボタン
L J	画面に表示される項目で、画面名や設定値を表します。
	(例)「シャットダウンパラメータ」タブ

ご使用上の注意	i
本ソフトウェアの用途について	i
ソフトウェア使用許諾契約書について	i
おことわり	iv
本書の読み方	v
本書で使用する表記	v
目次	vi
1. 機能概要	1
1−1 主な機能	1
■ コンピュータの自動シャットダウン	1
■ UPS の状態監視	1
■ UPS の制御	1
■ ネットワーク上のコンピュータの制御	1
1−2 運用の手順	2
1-3 システム構成例	3
■ UPS にコンピュータを1台接続(1 対 1)	3
■ UPS にネットワークを介した複数台のコンピュータを接続(1 対 N)	3
1−4 動作の流れ	4
1−5 ソフトウェアの構成	4
1-6 シャットダウンの種類	5
■ シャットダウンの流れ	6
1−7 動作環境	7
■ 対応 0S	7
■ 対応 UPS	8
■ 通信インターフェース	8
2. UPS との接続	9
2-1 USB 接続	9
2-2 RS232C 接続	10
3. インストールの手順	11
3-1 インストールの前に	11
3-2 インストール	11
4. 基本項目と動作確認	14
4-1 タスクトレイアイコン	14
4-2 タスクトレイアイコンの表示内容	14
4-3 モニタ画面の起動とログインの手順	15
4-4 シャットダウンパラメータ設定	17
4-5 シャットダウン設定	21
4−6 動作テストの実行	22
5. 操作と詳細設定	24

5-1	エージェントの停止/起動	.24
5-2	エージェントー覧画面の見方	. 24
5-3	トップ画面	. 26
5-4	簡単設定メニューと詳細設定メニュー	. 27
5-5	設定メニュー一覧	. 28
5-6	シャットダウンパラメータ	. 30
	シャットダウンパラメータ設定	. 30
	シャットダウンオプション設定	. 30
5–7	スクリプト設定	. 32
5–8	スクリプトの作成	. 35
	特殊なスクリプトコマンド	. 35
	スクリプト例	. 36
	スクリプト作成上の注意	. 36
5–9	スケジュール	. 37
	スケジュール登録	. 37
	スケジュール設定	. 39
5–10	ログ	. 40
	イベントログ	. 40
	データログ	. 42
5-11	イベントアクション設定	. 45
5-12	UPS 起動設定	. 46
6. その	D他設定	. 48
6-1	UPS 設定	. 48
6–2	通信設定	. 50
6–3	手動操作	. 52
6-4	コマンド送信	. 54
6-5	ユーザクセス権設定	. 55
6-6	同期設定	. 56
7. アン	ノインストール	. 57
7–1	アンインストールの前に	. 57
7–2	アンインストール	. 57

1. 機能概要

自動シャットダウンソフトウェア Power Attendant Lite(以下、本ソフトウェア)は、コンピュータに接続 した無停電電源装置(以下、UPS)の状態を常時監視して、入力電源異常(停電など)が発生した際に、コ ンピュータを正常にシャットダウンして、OS やハードディスクの損傷を防止します。 本ソフトウェアには以下の機能があります。

1-1 主な機能

■ コンピュータの自動シャットダウン

入力電源異常(停電など)が発生した場合、アプリケーションソフトや OS を終了させた後に UPS の電源を 停止させます。異常発生時にもデータやソフトウェアを安全に守ります。

■ UPS の状態監視

UPS の状態を監視し、そのログをコンピュータに記録します。

■ UPS の制御

スケジュール運転、即時シャットダウン、自己診断テスト、UPSの設定などを行うことができます。

■ ネットワーク上のコンピュータの制御

スクリプト機能を使うことで、入力電源異常などによるシャットダウン実行時に、ネットワーク上の他の コンピュータをシャットダウンすることができます。

1-2 運用の手順

以下の手順で本ソフトウェアの運用を開始します。操作方法は該当するページを参照してください。

UPS の設置	各 UPS のマニュアルを参照して、UPS を正しく設置します。
UPS とコンピュータ の接続	UPS とコンピュータを USB または RS232C で接続します。
インストール	本ソフトウェアをコンピュータにインストールします。
起動	本ソフトウェアを起動してエージェントにログインします。
設定	本ソフトウェアを設定します。
動作の確認	シャットダウン動作の確認テストをします。
運用開始	運用を開始します。

1-3 システム構成例

本ソフトウェアを使用して UPS とコンピュータを制御するシステム構成について説明します。 UPS とコンピュータを1対1で接続する構成と、ネットワークを介して、UPS と複数台のコンピュータを1 対Nで接続する構成があります。

■ UPS にコンピュータを1台接続(1対1)

入力電源異常やスケジュール運転など、シャットダウンイベントが発生した場合、コンピュータおよび UPS を自動的にシャットダウンします。



■ UPS にネットワークを介した複数台のコンピュータを接続(1対 N)

入力電源異常やスケジュール運転など、シャットダウンイベントが発生した場合、本ソフトウェアをイン ストールしているコンピュータと UPS を自動的にシャットダウンすると共に、ネットワーク上のコンピュ ータにスクリプトによるシャットダウン命令を出します。



PAL 取扱説明書

1-4 動作の流れ

入力電源異常発生時のシャットダウン動作は以下の流れで進みます。



1-5 ソフトウェアの構成

本ソフトウェアはエージェント、タスクトレイアイコン、モニタ画面で構成しています。

・エージェント

コンピュータに常駐して UPS の状態などを監視します。

・タスクトレイアイコン

OSのタスクトレイに常駐して UPSの状態などをアイコン表示します。

・モニタ画面

UPS やコンピュータの状態確認および本ソフトウェアの設定を行うことができます。

1-6 シャットダウンの種類

入力電源異常や通信エラーなど異常を検出した場合や、スケジュールで設定された日時に、設定に従い コンピュータを自動的にシャットダウンします。

本ソフトウェアには以下のシャットダウン動作を用意しています。

シャットダウン種類	説明
入力電源異常シャットダウン	入力電源異常(停電/電圧変動/周波数変動等)時にシャットダウンし
	ます。
スケジュールシャットダウン	事前に設定したスケジュールによりシャットダウンします。
即時シャットダウン	ユーザの手動操作によりシャットダウンします。シャットダウンパラ
	メータ設定のシーケンスに従いOSのシャットダウン、UPSの自動停止
	ができます。
	※本操作でシャットダウンした場合、UPSの再起動はUPS本体の電源ス
	イッチをOFF/ONします。
緊急シャットダウン	入力電源異常時にUPSのバッテリ残量が少なくなった場合(バッテリ
	ロー状態)、設定されている動作をすべてキャンセルして、OSを休止
	状態にします。(休止ができない環境はシャットダウンします。)
	※本動作時は、スクリプトも実行されません。
待機時間キャンセルシャットダ	入力電源異常の「待機時間」中にUPSのバッテリ残量が設定時間の合
ウン	計(「シャットタウン開始遅延」+「スクリプト実行時間」+「シャッ
	トダウンに必要な時間」)を切った場合、待機時間をキャンセルして
	シャットダウンを開始します。
異常発生時シャットダウン	UPS に異常が発生した場合にシャットダウンします。
警告発生時シャットダウン	UPS に警告が発生した場合にシャットダウンします。
通信エラーシャットダウン	UPS との通信エラーが発生した場合にシャットダウンします

参考

- ・「シャットダウンパラメータ設定」→P.17「4-4 シャットダウンパラメータ設定」参照
- ・以下シャットダウンは「シャットダウンオプション設定」で設定します。
 緊急シャットダウン/待機時間キャンセルシャットダウン/異常発生時シャットダウン
 /警告発生時シャットダウン/通信エラーシャットダウン
- ・「シャットダウンオプション設定」→P.30「シャットダウンオプション設定」参照

■ シャットダウンの流れ

以下の流れでシャットダウンを実行します。



	項目名	
1	待機時間	本ソフトウェアが入力電源異常検出後、シャットダウン処理を開
		始するまでの時間(電源状態が回復するか、様子を見る時間)。
		※UPS のバックアップ可能な時間を考慮せずに、待機時間を長く
		設定すると OS がシャットダウンを完了する前に、バッテリが尽
		きて UPS が停止する可能性がありますのでご注意ください。
2	シャットダウン開始遅延時間	待機時間経過後、OS のシャットダウン開始に遅延をかけたい場合
		に設定します。(スクリプトを設定している場合は、本時間経過後
		にスクリプトの実行を開始します。)
3	スクリプト実行時間	スクリプトの処理が完了するのに十分な時間を設定します。
		この時間が経過するまで 0S のシャットダウンは開始されません。
		スクリプトを使用しない場合は0秒にします。
4	シャットダウンに必要な時間	0S のシャットダウン処理にかかる時間を設定します。
		UPS 自動停止「する」を選択している場合、この時間経過後に UPS
		は自動停止(電源 0FF)します。

1-7 動作環境

本ソフトウェアの動作環境は以下の通りです。

■ 対応 0S

対応 0S 名
Windows10
Windows8.1/8
Windows7 💥
Windows Server 2019
Windows Server IoT 2019 for Storage
Windows Server 2016
Windows Storage Server 2016
Windows Server 2012R2
Windows Storage Server 2012R2
Windows Server 2012
Windows Storage Server 2012
Windows Server 2008R2 💥
Windows Storage Server 2008R2 💥
Windows Server 2008 💥
Windows Storage Server 2008 💥

※OpenGL2.0以上に対応したグラフィックドライバが必要です。



最新の対応状況は、当社ホームページをご覧ください。 https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/index.html|

■ 対応 UPS

シリーズ名	型式
BZ	BZ35LT2、BZ50LT2
ВХ	BX35F、BX50F
BX-W	BX50FW、BX75SW
BY-S	BY35S、BY50S、BY80S、BY120S
BY-W	BY50FW、BY75SW
BW-T	BW40T、BW55T、BW100T、BW120T
BN-T	BN50T、BN75T、BN100T、BN150T、BN220T、BN300T
BN-R	BN75R、BN150R、BN300R
BN-XR	BN150XR
BL-T	BL50T、BL75T、BL100T
BA-T/R	BA75T、BA100T、BA100R
BU-RS	BU100RS
BU-SW	BU50SW、BU75SW、BU100SW、BU150SW
BU-RW	BU75RW、BU100RW、BU200RW、BU300RW
BU-RE	BU60RE、BU100RE
BU-2SW	BU1002SW, BU3002SW
BU-2RW	BU1002RW
BU-2RWL	BU2002RWL、BU3002RWL、BU5002RWL
BU-R	BU150R
BU-2R	BU3002R、BU5002R
BU-2RH	BU3002RH
BV-RE	BV55RE

■ 通信インターフェース

_

インターフェース
USB
RS232C

2. UPS との接続

コンピュータと UPS を USB ケーブルまたは RS232C ケーブルで接続します。

2-1 USB 接続

コンピュータと UPS を USB ケーブルで接続します。

- ① コンピュータの電源を OFF にします。
- ② UPS 付属の USB ケーブルでコンピュータと UPS を接続します。

接続例(BN50Tの場合)



③ UPS→コンピュータの順番に電源を ON にします。



2-2 RS232C 接続

コンピュータと UPS を RS232C ケーブルで接続します。



RS232C ケーブルは、UPS 付属のケーブルを使用してください。 また、UPS 付属ケーブルを使用して通信機器や他社の UPS を接続しないでください。

① コンピュータの電源を OFF にします。

② UPS 付属の RS232C ケーブルでコンピュータと UPS を接続します。

接続例 (BN50T の場合)



- ③ RS232C ケーブルの固定用ネジを締めてコネクタを固定します。
- ④ UPS→コンピュータの順番に電源を ON にします。

3. インストールの手順

本ソフトウェアのインストール手順を説明します。

3-1 インストールの前に

- ・本ソフトウェアは、オムロン ソーシアルソリューションズ製 UPS 以外では使用できません。
- ・他の自動シャットダウンソフトウェアを使用している場合は、必ずそのソフトウェアをアンインストールし、OSを再起動してください。各ソフトウェアのアンインストール方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。
- ・ご使用環境で OS が正常にシャットダウンできることを確認してください。
- ・本ソフトウェアをインストールする前に、UPSと接続してください。
- ・Administrator 権限があるユーザ名でコンピュータにログインしてください。
- ・起動している他のアプリケーションを終了してください。

3-2 インストール

注意

本ソフトウェアでは Microsoft. Net Frameworks 4.5 を使用しており、これよりも古いバージョンがイン ストールされている環境では、Microsoft. Net Frameworks 4.5 をインストールした後に、OS を再起動す る必要があります。本ソフトウェアのインストール中に OS の再起動を要求された場合は、再起動した後、 再度本ソフトウェアの setup. exe をダブルクリックしてください。

- 当社ホームページよりダウンロードした本ソフトウェアを任意のフォルダに解凍し、解凍したフォ ルダ内にある「setup. exe」をダブルクリックし、インストールを開始します。
- ② 使用許諾契約画面で「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、[次へ] ボタンをクリック します。

PowerAttendant Lite - InstallShield Wizard	×
使用許諾契約 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。	Z
ソフトウェア使用許諾契約書について	^
本ソフトウェアをパソコンヘインストールされた場合は、次のソフ トウェア使用許諾書(以下本契約)内容にご同意いただけたものと いたします。 ご同意いただけない場合には、本ソフトウェアをパソコンにインス トールしないでください。	
[ソフトウェア使用許諾契約書]	~
 ● 使用許諾契約の全条項に同意します(A) ○ 使用許諾契約の条項に同意しません(D) 	ÉD届J(P)
InstallShield 〈 戻る(B) 〉次へ (N)〉	キャンセル

3

インストール先の選択		
ファイルをインストールするフォルダーを選択します。		
セットアップは、次のフォルダーに PowerAttendant l	Lite をインストールします。	
このフォルダーへのインストールは、D欠へ]ホタンをクリック	りします。	
別のフォルターヘインストールする場合は、[参照]ボシ	ヌンをクリックしてフォルターを選択してください。	
┌ インストール先のフォルダー		
インストール先のフォルダー C:¥Program Files (×86)¥OMRON¥PAL¥		参照(R)

④ 接続された UPS の検出方法を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

InstallShield Wizard X				
インストール完了後、UPSを自動検出します。COMボートを検索しますか?				
●COMボートは検索しない。				
○指定されたCOMボートのみ検索する。				
○すべてのCOMポートを検索する。				
< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) > キャンセル				

参考

UPSの検出方法は「その他設定」の「通信設定」でも変更することができます。 P.50「6-2 通信設定」参照 ⑤ [インストール] ボタンをクリックします。

PowerAttendant Lite - InstallShield W	/izard	×
インストール準備の完了		
インストールを開始する準備が整いまし	した。	
[インストール] をりりックしてインストールを問	開始してください。	
インストール設定を確認または変更す します。	る場合は、 [戻る] をクリックします。ウィザート	を終了するには、[キャンセル]をりりック
InstallShield		
	< 戻る(B)	インストールキャンセル

⑥ インストールが終了したら [完了] ボタンをクリックします。

PowerAttendant Lite - InstallShield Wizard			
	InstallShield Wizard が、PowerAttendant Lite を正常にインストールしました。ウィザートを終了するには、「完了」を切っりしてください。		
	< 戻る(B) 完了 キャンセル		

以上で Power Attendant Lite のインストールは終了です。

4. 基本項目と動作確認

4-1 タスクトレイアイコン

本ソフトウェアをインストールするとコンピュータにエージェントが常駐し UPS を監視します。 本ソフトウェアおよび UPS の動作状態は Windows のタスクトレイアイコンで確認できます。



4-2 タスクトレイアイコンの表示内容

アイコン表示	表示内容	説明
H .	商用運転中正常	エージェントが UPS を監視しています。
Ľ		UPS は正常運転しています。
×	エージェント停止	エージェントは UPS の監視を停止しています。
~		
AN I	バックアップ運転中	UPS は入力電源異常でバックアップ運転(バッテリ出力)して
		います。待機時間が経過するとシャットダウンを開始します。
573	通信エラー	UPS と本ソフトウェアの間で通信エラーが発生しています。
<u>•••</u>		※UPS とコンピュータが付属の通信ケーブル (RS232C 又は
		USB)でしっかり接続されているか確認してください。
		※RS232C 接続の場合
		BU、BA で始まる型式の UPS(常時インバータ給電方式)は
		D-sub9 ピンポートを 2 つ搭載しています。「RS232C」と記載
		されている側にコンピュータを接続しているか確認してく
		ださい。
# .	ハードウェア異常	UPS、電源に問題が発生しています。
-		問題はイベントログで確認します。
		※イベントログの確認方法は、P.26「5-3 トップ画面」、
		P.40「イベントログ」を参照してください。
		※機種毎に検出できる異常は異なります。ハードウェア異常の
		詳細は UPS の取扱説明書を参照してください。
1		

4-3 モニタ画面の起動とログインの手順

本ソフトウェアの設定はモニタ画面で行います。 以下の手順でモニタ画面を起動してエージェントにログインします。

 本ソフトウェアをインストールするとデスクトップに [PowerAttendant Lite] のショートカットを 作成します。このアイコンを使ってモニタ画面を起動します。



参考 「スタートボタン」→「すべてのプログラム」→「OMRON」→「PowerAttendant Lite」 →「PowerAttendant Lite」を選択しても、モニタ画面を起動することができます。

② エージェントー覧画面でエージェント名(コンピュータ名)をクリックします。

PowerAttendant L	ite					- 0	×
Iージェント名	UPS型式 BY50S	UPS状態 商用運転中	バッテリ状態 正常	通信ポート USB1	通信状態 通信中	1	
OMRON-2	BN100T	商用運転中	充電中	COM4	通信中		
						-	
				手動エージェント	唐索: IP Address		検索

参考

エージェントー覧画面には、ネットワーク上に検出したエージェントを表示します。

③ 「ログイン ID」と「パスワード」を入力して [OK] ボタンをクリックします。

ق ۵	グイン	_		×
ОП	NRON			
I	ージェント名:OMRON-2			
	ログインID: Login ID			
	パスワード: Password			
	ОК		キャンセル	

※初期設定:ログイン ID=Admin/パスワード=omron

参考

新しいユーザは「詳細設定」→「その他設定」→「ユーザクセス権設定」で登録します。 P.55「6-5 ユーザクセス権設定」参照

④ ログインしたエージェントのトップ画面を表示します。

NRON									
設定	トップ								
1	UPS選択								
トダウンパラメータ	OMRON-2	BN10	0Т	商用運転中	充電中	-			
b	LIPS状態								
9	入力電圧:	40	60	80	100	120	140	102.0	/
	出力電圧:	4 <mark>0</mark>	60	80	100	120	140	102.3	/
	入力周波数:	4 <mark>0</mark>	45	50	55	60	65	50.0 ł	Ηz
	出力周波数:	4 <mark>0</mark>	45	50	55	60	65	50.0 ł	Ηz
	接続容量:	0	25	50	75	100	125	2 9	6
	バッテリ容量:	0	25	50	75	100	125	99 9	6
	前回のバッテリ使用	開始日(交換日): ン(日時): 次	2016-06-30 ரைபPSまきまかF	次回のバッテリ交換: - 1(日時):					
	2017-02-25 20:01	51 じゅ(まポート)を追	stol.+L.t-[OMB	RON-2 COM4]					
	2017-02-25 20:01:	21 入力電源正常[OMRON-2 UPS	(BN100T/COM4)]					
									_

4-4 シャットダウンパラメータ設定

入力電源異常時(停電時)のシャットダウン動作の設定をします。

🍓 PowerAttendant Lite	- 0
OMRON	
簡単設定	シャットダウンパラメータ設定
トップ	1 初期値に戻す 長め 標準 短め
シャットダウンパラメータ	シャットダウンパラメータ
シャットダウンパラメータ設定	<u>シャットダウン開始</u> 入力電源実業 UPS運転停止
シンテットガウンオゴション語史	出力コンセントA エージェント 存続時間1分 シャットダウンに必要な時間3分
	出力停止までの時間 3分
スクリプト設定 (2)	出力コンセント8
スケジュール	
<u>ר</u> ש	入力電源異常時の最大バックアップ時間 0分
1124	
UPS記動設定	
	パラメータ
CUTERRE	UPS出力コンセント進択 出力コンセントA
ログオフ (3)	
へいしつ	<u> スクリプト実行時間</u> 0 ▲ ▼ 秒 UPS自動停止 する ▼
	<u>シャットダウンに必要な時間</u> 180 ▲ ▼ 秒
	出力停止までの時間
4	出力コンセントA 180 ▲▼ 秒 出力コンセントB 180 ▲▼ 秒
_	出力コンセントC 180 🔺 🔻 秒 入力電源異常時の最大バックアップ時間 🛛 分
	適用 キャンセル

	項目名	説明
1	初期値に戻す	シャットダウンパラメータのパターンを選択します。
		や)のパターンがあり、「シャットダウンに必要な時間」は全て3
		分です。
		※本ソフトウェアの初期値は「標準」(待機時間1分/シャットダ
		ウンに必要な時間3分/UPS 自動停止「する」)です。
2	シャットダウンパラメータ	「パラメータ」、「出力停止までの時間」で設定した時間をグラフ
		で表示します。
3	UPS 出力コンセント選択	出力コンセント制御機能のある UPS を使用する場合、コンピュー
		タの電源ケーブルを接続した出力コンセントグループ(A/B/C)
		を選択します。
		出力コンセント制御機能のない UPS では、「出力コンセント A」の
		み表示します。

	項目名	説明
3	待機時間	本ソフトウェアが入力電源異常を検出後、シャットダウンを開始 するまでの時間を設定します(0~36,000秒)。 ※本時間は入力電源異常が回復するか、様子を見る時間です。 ※本時間内に復電した場合は、シャットダウンを開始しません。 ※待機時間中には以下警告画面を表示します。 警告画面でカウントダウンの[一時停止]、[再開] が可能です。
	シャットダウン開始遅延	 OSのシャットダウン開始時間を遅延したい場合に設定します。(設定値:0~7,200秒/初期値0秒) 例)シャットダウン開始時(待機時間が経過した時)から、1分後にOSのシャットダウンを開始したい場合は、60秒に設定します。 ※遅延をかけない場合は、「0」秒に設定します。
	スクリプト実行時間	スクリプト処理が完了するのに十分な時間を設定します。 (設定値:0~7,200秒/初期値0秒) ※この時間が経過するまで0Sのシャットダウンは開始しません。 ※スクリプトを使用しない場合は「0」秒に設定します。 ※Hyper-V使用時、「PALがゲスト0Sを終了」を選択する場合は、 ゲスト0Sが終了するのに必要な時間を「スクリプト実行時間」 で設定してください。
	シャットダウンに必要な時間	OS のシャットダウン開始から完了するまでに必要な時間を設定し ます。(設定値:0~1,800 秒/初期値180 秒) ※設定時間が短い場合、OS のシャットダウン途中で UPS が出力停 止(電源 0FF)する可能性がありますので、ご注意ください。
	使用するスクリプト	[詳細] ボタンで「スクリプト実行リスト」の確認ができます。 ※スクリプトについては P. 32「5-7 スクリプト設定」を参照して ください。

	項目名	説明
(\mathbf{S})	仮想サーバ終了モード	ゲスト 0S の終了方法を以下から選択します。
		・ホスト OS がゲスト OS を終了
		→Hyper-V マネージャでホストがシャットダウンする時のゲス
		ト 0S の動作を設定してください。
		・PAL がゲスト OS を終了(シャットダウン)
		→ゲスト OS が終了するのに必要な時間を「スクリプト実行時
		間」で設定してください。
		・PAL がゲスト 0S を終了(休止)
		→ゲスト OS が終了するのに必要な時間を「スクリプト実行時
		間」で設定してください。
		※本項目は「簡単設定」メニューでは表示しません。
		※本項目は Hyper-V を使用しない環境では有効になりません。
	OS 終了モード	OSの終了状態を選択します。
		「シャットダウンで終了する」、「休止する」の二択です。
		※「休止する」はデスクトップの状態をハードディスクに保存し
		て終了します。再起動時には休止前のデスクトップ状態に戻り
		ます。以下の場合は、「休止する」をお勧めします。
		→OS 終了時に保存したいデータがある。
		→最短の時間で 0S を終了させたい。
		※0S 側で「休止」がサポートされていない場合は、本項目は有効
		になりません。(「シャットダウンで終了する」動作になります。)
	UPS 自動停止	コンピュータがシャットダウンした後の UPS 自動停止の設定をし
		ます。
		※UPS 自動停止「する」に設定した場合、シャットダウン途中で
		復電しても UPS は設定時間後に必ず停止します。
		※UPS 自動停止「しない」に設定した場合、UPS はバッテリを使
		いきったところで停止します。バッテリを使いきる前に復電し
		た場合は、そのまま運転を継続します。
4	出力停止までの時間	出力コンセント制御機能を持った UPS で使用する項目です。
		本ソフトウェアをインストールしたコンピュータが接続されて
		・・ ない、出力コンセントグループ(A/B/C)の出力停止時間を設定
		します。
		OS のシャットダウン開始後、出力コンセントグループの出力が停
		止(接続機器への電源供給を停止)するまでの時間を設定します。
		(設定値:0~1,800秒/初期値:A 180秒、B 180秒、C 180秒)
		※「パラメータ」の設定により UPS 停止までの時間が変わります。
		0S のシャットダウンが決った時点(「待機時間」経過後)から、
		UPS が停止するまでの時間は、「シャットダウン開始遅延」、「ス
		クリプト実行時間」、「シャットダウンに必要な時間」の合計値

	項目名	説明
(\mathbf{E})		になります。 ※パラメータの「シャットダウンに必要な時間」よりも「出力停 止までの時間」を長く設定した場合、OS のシャットダウンが決 った時点(「待機時間」経過後)から、UPS が停止するまでの時 間は、「シャットダウン開始遅延」、「スクリプト実行時間」、「出 力停止までの時間」の合計値になります。
	入力電源異常時の 最大バックアップ時間	入力電源異常時に UPS が一定時間バックアップ運転をした後、自動停止する機能です。(設定値:~9,999 秒/初期値0秒) ※0 秒は、本機能を無効にする設定です。
		本ソフトウェアでは、「シャットダウンに必要な時間」を1,800 秒 よりも長くしたい場合に、代替え設定として使用します。 ※本設定には「待機時間」+「シャットダウン開始遅延」+「スク リプト実行時間」+「シャットダウンに必要な時間」の合計値を 設定します。 ※本設定で UPS を停止する場合、パラメータの「UPS 自動停止」 は「しない」に設定します。 ※本機能の制限 本設定で UPS を停止する場合、UPS 停止時間前に復電すると、UPS は停止せず、運転を継続します。
		設定例) 動作: 0S のシャットダウン開始から1時間後に UPS を停止した い。シャットダウン開始までの時間設定は以下の通り。 待機時間 60 秒 シャットダウン開始遅延0 秒 スクリプト実行時間0 秒
		設定:パラメータ→UPS 自動停止「しない」 入力電源異常時の最大バックアップ時間→「61」分 ※「待機時間 60 秒」+「シャットダウン開始遅延 0 秒」 +「スクリプト実行時間 0 秒」+「0S シャットダウン開始か ら UPS 停止までの時間 60 分」=61 分

参考

設定時間の配分と流れは、「シャットダウンパラメータ」欄のグラフで確認します。

4-5 シャットダウン設定

〔シャットダウンパラメータ〕→〔シャットダウンパラメータ設定〕をクリックします。
 「パラメータ」の「待機時間」を選択します。初期値は「60」秒です。

※「60」秒にした場合、本ソフトウェアが停電を検出してから 60 秒でコンピュータのシャットダウンを開始します。

Ϋ PowerAttendant Lite	– 🗆 X
OMRON	
詳細設定	シャットダウンパラメータ設定
トップ	初期値に戻す 長め 標準 短め
シャットダウンパラメータ	シャットダウンパラメータ
シャットダウンパラメータ設定	シャットダウン開始 し中ち運転停止
	エージェント 待続時間1分 シャットダウンに必要な時間3分
1737	出力停止までの時間 3分
ヘルプ	出力コンセントB
	1 + 研究面積後44の見+12, 27, 444間 0/\
	人力電源其希時の服入パックパック時間の方。
	パラメータ
	UPS出力コンセント選択 出力コンセントA ▼ 使用するスクリプト 詳細
1) 待機時間 60 ▲ ▼ 秒 仮想サーバ終了モード ホストOSがゲストOSを終了 ▼
Ŭ	<u>シャットダウン開始遅延</u> 0 ▲ ▼ 秒 OS終 7 モード 「シャットダウン」で終 7 する ▼
	<u> スクリプト実行時間</u> 0▲▼ 秒 3 UPS自動停止する ▼
(2)	
	出力停止までの時間
	出カコンセントA 180 ▲ ▼ 秒 出カコンセントB 180 ▲ ▼ 秒
	出力コンセントC 180 🔺 🔻 秒 入力電源異常時の最大バックアップ時間 0 分
	(4) 適用 キャンセル

- 「シャットダウンに必要な時間」を選択します。初期値は「180」秒です。
 ※0Sのシャットダウンが完了するより少し長めの時間を選択してください。
- 「UPS 自動停止」の選択をします。初期値は「する」です。
 ※本テストでは UPS の停止まで確認しますので、「する」を選択してください。
 - →シャットダウンパラメータ欄のグラフで、入力電源異常(停電)から 0S のシャットダウン開始、 UPS 運転停止(電源 0FF)の時間配分と流れを確認し、問題があれば修正します。
- ④ [適用]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。

4-6 動作テストの実行

擬似的に UPS を停電状態(商用電源の供給を停止)にして、本ソフトウェアがコンピュータを正常にシャットダウンできるか確認します。

電源供給を停止してコンピュータの正常なシャットダウンと UPS の停止動作を確認します。

注意

万一に備えて、作成中のデータなどは保存しておいてください。

参考

UPS とコンピュータが通信ケーブル(USB 又は RS232C)で接続され、タスクトレイアイコンが「商用運転中正 常」の表示になっていることを確認してください。 P.14「4-2 タスクトレイアイコンの表示内容」参照

 タスクトレイアイコンが以下「商用運転中正常」になっていることを確認し、 UPS の AC 入力プラグをコンセントから抜きます。



本ソフトウェアが入力電源異常を検出すると、
 タスクトレイアイコンが「バックアップ運転中」の表示に変わります。



③ 以下警告画面が出て「待機時間」のカウントダウンを開始します。

ঘ 入力電源異常		- 🗆	×
バッテリー残量 : 99 % 残稼働時間 : 秒			
シャットダウン開始まで 55 秒			
一時停止	再開		

※警告画面の[一時停止]ボタン、[再開]ボタンでカウントダウンの一時停止、再開が可能です。

④ 「待機時間」のカウントダウンが終了すると、コンピュータはシャットダウンを開始します。

- ⑤ コンピュータのシャットダウン開始から、「シャットダウンに必要な時間」 経過後に UPS は自動停止 します。
 ※必ず UPS が自動停止するまで、そのまま待ってください。
- ⑥ UPS の自動停止(電源 0FF)を確認したら、UPS の AC 入力プラグをコンセントに戻し、
 自動再起動させます。
 - ※当社 UPS は復電時自動再起動する設定で出荷しております。自動再起動させたくない場合は、
 UPS の取扱説明書を参照の上、設定を変更してください。
 以下 UPS は本ソフトウェアから設定可能です(P.46「5-12 UPS 起動設定」参照)。
 BZ35LT2、BZ50LT2
 BW40T、BW55T、BW100T、BW120T
 BN50T、BN75T、BN100T、BN150T、BN220T、BN300T
 BN75R、BN150R、BN300R
 BN150XR
 BU1002RW
 BU2002RWL、BU3002RWL、BU5002RWL
 BU5002R、BU3002R、BU3002RH
 BV55RE
- ⑦ コンピュータを起動します。

※コンピュータの BIOS 設定が給電時に自動起動する設定になっている場合は、UPS の起動に連動してコンピュータも自動起動します。
BIOS 設定等につきましては、コンピュータの取扱説明書をご確認ください。

⑧ タスクトレイアイコンでエージェントが商用運転中正常の表示になっていることを確認します。



以上でシャットダウンテストは終了です。

注意

UPS を自動停止「する」設定の運用上の注意

OS のシャットダウン途中で復電した場合、UPS が停止する前にコンピュータの電源を入れてしまうと コンピュータの起動途中で UPS が出力停止する可能性があります。

UPS を自動停止「する」設定にしている場合は、必ず UPS が停止/再起動した後にコンピュータの電源を 入れてください。

5. 操作と詳細設定

5-1 エージェントの停止/起動

タスクトレイアイコンを右クリックすると、エージェントの「停止」または「起動」ができます。



参考 タスクトレイアイコンの表

タスクトレイアイコンの表示の見方は、P.14「4-2 タスクトレイアイコンの表示内容」を参照してください。

5-2 エージェントー覧画面の見方

デスクトップのショートカット「PowerAttendant Lite」をダブルクリックするとモニタ画面が起動し、 エージェントー覧が表示されます。

ຢູ່ PowerAttendant L	ite					- 🗆 X
OIIIRON Iージェント名 I OMRON-1	UPS型式 BY50S	UPS状態 商用運転中	バッテリ状態 正常	通信ポート USB1	通信状態 通信中	
OMRON-2	BN100T	商用運転中	充電中	COM4	通信中	
	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	
				手動エージェンド	検索: IP Address	検索
					(7)	

	項目名	表示内容
1	エージェント名	本ソフトウェアがインストールされているコンピュータのコンピュータ名を表
		示します。
		エージェント名をクリックしてトップ画面にログインします。
2	UPS 型式	接続されている UPS の型式を表示します。
3	UPS 状態	UPS の状態(以下参照)を表示します。
		通信エラー/スタンバイ/シャットダウン待ち/再起動待ち
		/シャットダウン中/バックアップ中/テスト中/商用運転中
4	バッテリ状態	バッテリの状態(以下参照)を表示します。
		バッテリ未接続/バッテリロー/バッテリ劣化/テスト中/充電中/放電中
		/バッテリ寿命/バッテリ異常/正常
(5)	通信ポート	UPS が接続されている通信ポートを表示します。
		USBx または COMx (x=ポート番号)
6	通信状態	コンピュータと UPS の通信状態を表示します。
		通信中/表示なし
7	手動エージェン	IP アドレスを指定してエージェントに直接ログインします。
	ト検索	IP アドレスを入力して [検索] ボタンをクリックします。

5-3 トップ画面

エージェントにログインするとトップ画面を表示します。

トップ画面には接続されている UPS の状態や発生したイベントなどの情報を表示します。

参考

アカウントの初期設定値: ログイン ID= Admin /パスワード= omron

) PowerAttendant Lite							
MRON							
細設定		トップ					
ップ		UPS選択					
やットダウンパラメータ	1	OMRON-2	DN100T	东田海転山	本司	ērta	
グオフ	_ L	COM4	BN1001	的用建設中	元章	ĘΨ	
11-7		UPS状態					
		入力電圧:	40 60	80	100	120	140 102.0 V
		出力電圧:	40 60	80	100	120	140 102.3 V
	\bigcirc	入力周波数:	40 45	50	55	60	65 50.0 Hz
		出力周波数:	40 45	50	55	60	65 50.0 Hz
		接続容量:	0 25	50	75	100	125 2 %
		バッテリ容量:	0 25	50	75	100	125 99 %
		前回のバッテリ使用! 次回のシャットダウン	開始日(交換日): 2016-06-30 (日時): 次回のUPS記画) 次回のバッテリ交換: h日(日時):			
	- 1						
	\bigcirc	イベントロク					
	\odot	2017-02-25 20:01:51 2017-02-25 20:01:21	1 5回言ボートを追加しました[0 1 入力電源正常[OMRON-2 U	MRON-2 COM4J IPS(BN100T/COM4)]			

	項目名	説明
1	UPS 選択	エージェントに接続されている UPS の概要を表示します。
2	UPS 状態	UPSの「入力電圧」、「出力電圧」、「入力周波数」、「出力周波数」、
		「接続容量」、「バッテリ容量」をグラフと数値で表示します。
		「前回のバッテリ使用開始日(交換日)」は現在使用中のバッテリの使用
		開始日です。
		「次回のバッテリ交換」は UPS のバッテリ期待寿命、使用方法等から
		予めバッテリ交換時期の目安を、本ソフトウェア上に設定した場合に表示
		します。
		P. 48「6-1 UPS 設定」参照
		「次回のシャットダウン(日時)」、「次回の UPS 起動日(日時)」は
		次のスケジュール運転の予定を表示します。
		P.37「スケジュール登録」参照
3	イベントログ	発生したイベントを新しいものから2件表示します。

5-4 簡単設定メニューと詳細設定メニュー

設定メニューには、基本的な項目だけを表示する「簡単設定」と、すべての項目を表示する「詳細設定」 があります。



簡単設定メニュー

詳細設定メニュー

5-5 設定メニュー一覧

メニュー	設定項目		メニュ	一表示
項目			簡単	詳細
トップ	・UPS 選択 ・UPS 状態 ・イベントログ		0	0
シャット	シャットダウン	・シャットダウンパラメータ	0	0
ダウン	パラメータ設定	・パラメータ		
パラメー		・出力停止までの時間		
タ	シャットダウン	・緊急シャットダウン		0
	オプション設定	・待機時間キャンセルシャットダウン		
		・通信エラー時のシャットダウン		
		・異常発生時のシャットダウン		
		・警告発生時のシャットダウン		
スクリプ	スクリプト設定	・スクリプト設定情報		0
ト設定		・スクリプト設定		
スケジュ	スケジュール	・登録済みスケジュール		0
ール	登録	・スケジュール登録		
	スケジュール	・スケジュールシャットダウン開始警告設定		0
	設定			
ログ	イベントログ	・期間設定		0
		・ログオプション		
		・イベント発生状況(グラフ)		
	データログ	・UPS 選択		0
		·期間設定		
		・ログオプション		
		・入力電源状況(グラフ)		
イベント	アクション設定	・アクション情報		0
		・イベントリスト		
	lido 휘환하다	- 대하고 고 에너		
UL2 和新部中	UF3起期設足	「リアン丹起到改た」		0
起動設定				
ての世	upc ᇌᅌ			
ての他	UP3 設定	・UFS 選択		0
設定				
		・則回のハッナリ使用開始日(交換日)		

メニュー	設定項目		メニュ	一表示
項目			簡単	詳細
その他	通信設定	・UPS 通信ポート		0
設定		・ネットワーク設定		
		・データ更新時間		
		・ログオフ時間		
	手動操作	・UPS 選択		0
		・ブザー		
		・即時シャットダウン		
		・自己診断テスト		
		・出力コンセントA		
		・出力コンセント B		
		・出力コンセントC		
		·設定情報		
	コマンド送信	・UPS 選択		0
		・コマンド		
	ユーザ	・登録済ユーザ		0
	アクセス権設定	・ログ		
		・ユーザクセス権設定		
		(新規登録/修正/削除)		
	同期設定	・同期設定		0

5-6 シャットダウンパラメータ

シャットダウン動作の設定をします。

「シャットダウンパラメータ設定」と「シャットダウンオプション設定」があります。

■ シャットダウンパラメータ設定

シャットダウンパラメータ設定については、P.17「4-4 シャットダウンパラメータ設定」を参照して ください。

■ シャットダウンオプション設定

🖏 PowerAttendant Lite			-		×
OMRON					
簡単設定	シャットダウンオプション設定				
רשל 🚺	緊急シャットダウン				
シャットダウンパラメータ	□ パッテリの残量が少なくなった場合、すぐにシャットダウンする				
シャットダウンパラメータ	待機時間キャンセルシャットダウン 図存機時間中に残稼動予測時間が不足している場合、待機	時間をキャンセルしてシャットダウンする			
シャットッリフォ フション設定 スクリプト設定 ③	通信エラー時のシャットダウン □通信エラーを入力電源具体と同等に扱いシャットダウンする				
スケジュール	異常発生時のシャットダウン				1
טט	□ ハードウェア異常	□ファン異常			
	□ 出力電圧異常 □ DC/以電圧異常 □ オーバーロード異常	 □ トランス異常 □ パッテリ劣化 □ マスト結果-異常あり(バッテリペ化) 			
その他設定	□ 出力短絡異常 □ 川 川ッテリ過充電異常	□ テスト結果・異常あり(いードウェア異常) □ デイパス運転			
ログオフ	□ バッテリ充電不足異常 □ バッテリ充電不足異常				
ヘルプ (5)	警告発生時のシャットダウン 回搬容量サーバー				
		適用	#	ャンセル	
	L				_

参考

・設定を変更したら、必ず [適用] ボタンをクリックします。

	項目名	説明
1	緊急シャットダウン	入力電源異常時に UPS のバッテリ残量が少なくなった(バッテリロー状態)
		ら、シャットダウンパラメータ設定で設定されている動作をすべてキャンセ
		ルし、OS を休止状態にします。休止ができない環境はシャットダウンしま
		す。
		(初期値:チェックあり)
		※本動作時は、スクリプトも実行されません。
2	待機時間キャンセル	入力電源異常の「待機時間」中に、残稼働予測時間(UPSの推定バッテリ残
	シャットダウン	量)が、シャットダウンパラメータ設定の時間の合計値(「シャットタウン
		開始遅延」+「スクリプト実行時間」+「シャットダウンに必要な時間」)を
		切った場合、待機時間をキャンセルしてシャットダウンを開始します。
		(初期値:チェックあり)
3	通信エラー時の	10 秒を超える通信エラーが発生した場合、入力電源異常時と同様にシャッ
	シャットダウン	トダウンを開始します。
		(初期値:チェックなし)
		※10 秒のエラー復帰検知時間を設けていますので、この間にエラーが回復
		すればシャットダウンを開始しません。
4	異常発生時の	UPS に異常が発生した場合、シャットダウンを開始します。
	シャットダウン	(初期値:チェックなし)
		以下イベントから対象となる異常を選択します。
		ハードウェア異常/出力電圧異常/DC バス電圧異常
		/オーバーロード異常/出力短絡異常/バッテリ過充電異常
		/バッテリ充電不足異常/温度異常/ファン異常/トランス異常
		/バッテリ劣化/テスト結果・異常あり(バッテリ劣化)
		/テスト結果・異常あり(ハードウェア異常)/バイパス運転
5	警告発生時の	本ソフトウェアが過負荷(接続容量オーバー)を検出した時に、シャットダ
	シャットダウン	ウンを開始します。
		(初期値:チェックなし)

参考

「オーバーロード異常」と「接続容量オーバー」の違い

- ・「異常発生時のシャットダウン」の「オーバーロード異常」は、過負荷で UPS が出力停止した状態(UPS は 「EO」表示/「カフカテイシ」表示)です。
- ・「警告発生時のシャットダウン」の「接続容量オーバー」は、過負荷で UPS が警告を出しながら出力を継続 している状態(UPS は「OL」表示/「オーバーロード」表示)です。

※接続容量オーバー時の UPS の動作は機種毎に異なります。詳細は UPS の取扱説明書を参照してください。

5-7 スクリプト設定

スクリプトは OS のタスクを実行するコマンドセットです。 本ソフトウェアでは登録したスクリプトをイベント発生時や、OS シャットダウン時に実行することができ ます。

参考

・設定を変更したら、必ず [適用] ボタンをクリックします。

・スクリプトの例

本ソフトウェアによる OS シャットダウン時に、ネットワーク上のコンピュータをシャットダウン処理する。

🕙 PowerAttendant Lite						- 0
OMRON						
簡単設定	スクリプト <mark>設</mark> 定					
トップ	スクリプト設定情報	Ŕ			V A	新規登録
シャットダウンパラメータ	No スクリプト名称 シ	ャットダウン時の使用 デバイスIPアド	レス コマンドタイプ 修正	削除		
スクリプト設定 (1)						
スクリプト設定						
スケジュール						
ログ						
1124						
イベント UPS起動設定	スクリプト 設定					
イベント UPS起動設定 その他設定	スクリプト設定 スクリプト2015年					
イベント UPS起動設定 その他設定	スクリプト 設定 スクリプト名称 コマンドタイプ	[なし	 デバイスIPアドレス 			
イベント UPS起動設定 その他設定 ログオフ	スクリプト 設定 スクリプト 設定 スクリプト名称 コマンドタイプ OS	【 なし その他	 デバイスIPアドレス 文字コード 	UTF-8		~
イベント UPS起動設定 その他設定 ログオフ へルプ 2	スクリプト 設定 スかけそ称 コマンドタイプ のS 接換リトライ回数	[なし その他 0 ▲ ▼	 デバイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒) 	UTF-8	120 🔺 💌	~
イベント UPS起動設定 その他設定 ログオフ へいレプ 2	スクリプト 設定 スカリアト名称 コマンドタイブ のS 撮機りトライ回数 ログイン一般ユーザID	なし での注 0 ▲ ▼	 デバイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒) ログイン管理者ユーザID 	UTF-8	120 🔺 💙	Y
イベント UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルプ ②	スクリプト 設定 スカリナド名称 マンドタイブ のS 撮想いトライロ紙 ログインー 統ユーザル ログイン一 統ユーザルワッ-ド	[なし での注 0 ▲ ▼	 デバイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(砂) ログイン管理者ユーザル ログイン管理者ユーザパスワード 	UTF-8	120 🔺 💙	
イベント UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルブ ②	スクリプト 設定 スカッフト名称 コマンドタイブ のS 接効トライ回数 ログインー検ユーザル ログインー検ユーザルフクード スグリプトファイル	たし ての他 0 ▲ ▼ NocelWindowsSample use	 デバイスピアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒) ログイン管理者ユーザル ログイン管理者ユーザパスワード 	UTF-8	120 🔺 💟	~
イベント UPS起動設定 その他設定 ロジオフ ヘルプ ②	スクリプト 設定 スッパント名称 コマンドタイブ のS 接換ルトライ回数 ログインー 設ユーザル ログインー 設ユーザルフワード スグリプト実行シイムアウト(形)	【 衣 し ての他 0 ▲ ▼ 10catWindowsSample usc 120 ▲ ▼	 デバイスEPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒) ログイン管理者ユーザD ログイン管理者ユーザパスワード シッットダウン4時の使用 	UTF-8	120 🔺 💟	×
イベント UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルブ ②	スクリプト 設定 スリフト名称 コマンドタイブ のS 接効トライ回数 ログインー検ユーザル ログインー検ユーザルフワード スクリフト実行シイムアウト(形) スクリフト実行ラスト。	なし その他 0 ▲ ▼ 10ce1WindowsSample use 120 ▲ ▼ テスト 紀来	 デバイスピアドレス 文字コード 1接続タイムアウト(秒) ログイン管理者ユーザル ログイン管理者ユーザパスワード シャットダウン4時の使用 	UTF-8	120 🔺 💌	×
イベント UPS起動設定 その他設定 ログオフ ヘルブ ②	スクリプト 設定 スカプト名称 コマンドタイブ のS 接効トライロ版 ログインー検ユーザル ログインー検ユーザルフクード スクリプト実行ライムアウト(形) スクリプト実行ラスト	 なし その池 し ここるWindowsSample usc 120 ▲ ▼ テスト 結果:	 デバイスIPアドレス 文字コード 接続タイムアウト(秒) ログイン管理者ユーザル ログイン管理者ユーザパスワード シャットダウン4時の使用 	UTF-8	120 ▲ ▼	×

	項目名	説明
1	スクリプト設定情報	登録されたスクリプトのリストとその概要を表示します。
		・[新規登録] ボタンをクリックすると画面下の「スクリプト設定」欄が表
		示され、新しいスクリプトを作成できます。
		・登録されているスクリプトがある場合は [修正]、[削除] ボタンが表示さ
		れ、スクリプトの編集や削除ができます。
		※スクリプト設定情報の登録件数は、最大 20 件です。
2	スクリプト名称	スクリプトの名称を入力します。
		※最大 100byte です。
	コマンドタイプ	プルダウンメニューでスクリプトの通信方式を設定します。
		なし/コマンドライン/SSH V1/SSH V2/Telnet
		※「なし」を適用すると、登録したスクリプトを無効にします。
		※「コマンドライン」はローカルコンピュータ内のバッチファイル等を実行
		する場合に選択します。
		※「SSH V1」、「SSH V2」や「Telnet」はネットワーク越しのコンピュータを
		制御する場合に選択します。
		※本ソフトウェアが SSH で対応している暗号化方式は以下の通りです。
		AES256-SDCTR/AES192-SDCTR/AES128-SDCTR/AES256-CBC
		✓AES192-CBC ✓AES128-CBC
	OS	スクリプトを実行するコンピュータの 0S を設定します。
		その他/Windows/Linux/Mac
	接続リトライ回数	ログインに失敗した際の再試行の回数を選択します。
		(設定値:0~9╱初期値:0 回)
		スクリフトを実行するコフヒュータのロクイフエーザ ID(一般)を指定し ます。スクリプトロズ (m) トロばすれば、スクリプト字行時にす項目に]
	1-7 IV	まり。スクリフト内で Sul と記述りれば、スクリフト美行時に本項日に入
	ログノン	フレに値に直さ換わります。
	ロクイ ノー板	
		フレルビに直と狭わりより。
	ロッイン官理有 コーザ ID	ヘッサンドを美行するコンビュータのロッキンユーサーD(皆理有)を指定 します。スクリプト内で《u2 と記述すれば、スクリプト実行時に本項日に
	<u></u>	
		ハハしに喧に喧ては1/フ み ァ 。 ※Linux /Mac /Unix で必要であれげ入力 Windows でけ不要です
	ログイン管理者	スクリプトを実行するコンピュータのログインパマロード(管理書)を生命
	ー ノー ノ 目 ユ 日 コ ー ザ パス ワ ー ド	ハノノノービスロクションビュークションコンハハノード(自社日)で相に します スクリプト内で $n2$ と記述すれば スクリプト実行時に太頂日に
		ハルしに⊫に厚ビス1/フェフ。 ※Linux/Mac/Ilnix で必要であれば入力 Windows でけ不要です

	項目名	説明
2	スクリプトファイル	プルダウンメニューで実行するスクリプトを選択します。
		※以下の階層に拡張子「usc」で保存したファイルを選択肢として表示しま
		す。
		C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON¥PAL
		※スクリプトファイルの作成方法は P.35「5-8 スクリプトの作成」を参照
		してください。
	スクリプト	スクリプト実行時のタイムアウト時間を設定します。
	実行タイムアウト	(設定値:0~7, 200 秒/初期値:120 秒)
	(秒)	「0」を設定するとタイムアウトしません。
	スクリプト	[テスト] ボタンをクリックすると、スクリプトを実行します。
	実行テスト	「結果」欄に以下実行結果が表示されます。
		Success / Connection Timeout / Command Timeout
	デバイス IP アドレス	スクリプトを実行するコンピュータの IP アドレスを入力します。
	文字コード	スクリプトの文字コードを設定します。
		スクリプト実行対象の OS に合わせて設定してください。
	接続タイムアウト	ログイン時のタイムアウト時間を設定します。
	(秒)	(設定値:0~120 秒/初期値:120 秒)
		「0」を設定するとタイムアウトしません。
	シャットダウン時	「する」
	の使用	本ソフトウェアで OS をシャットダウンする時にスクリプトを実行します。
		「しない」
		本ソフトウェアで OS をシャットダウンする時にスクリプトを実行しませ
		\mathcal{L}_{\circ}

5-8 スクリプトの作成

スクリプトはメモ帳などのテキストエディタでテキストファイルとして作成します。 スクリプトは2行を1単位として、「何を受け取った時に、何を送信するか」を記述します。 例えば、接続先から「\$」を含む文字列を受信した時に、コマンド su を送信する場合は、以下のように 記述します。

rcv=\$

snd=su

作成したスクリプトは、以下のフォルダに拡張子「usc」を付けて保存します。

C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON¥PAL

上記フォルダに保存したスクリプトファイルを、「スクリプト設定」欄(①)の「スクリプトファイル」に 表示します。

スクリプト設定				
スクリプト名称	test			
	コマンドライン 🔻	デバイスIPアドレス		
os	その他・・	文字コード	UTF-8	~
接続リトライ回数	0	接続タイムアウト(秒)	120 🔺 🔻	
ログイン一般ユーザID		ログイン管理者ユーザID		
ログイン一般ユーザパスワード		ログイン管理者ユーザパスワード		
 スタリプトファイル 	localWindowsSample32bitusc 🔹 💌]		
スクリプト実行タイムアウト(秒)	120 🔺 🔻	シャットダウン時の使用	する	•
スクリプト実行テスト	テスト 結果:			
			適用	キャンセル

■ 特殊なスクリプトコマンド

特殊なパラメータとして\$u1, \$p1, \$u2, \$p2 を使用できます。それぞれ以下のように使うことができます。

パラメータ	内容	説明
\$u1	ログインー般ユーザ ID	「スクリプト設定」の「ログイン一般ユーザ ID」に
		置き換えられます。
\$p1	ログイン一般ユーザパスワード	「スクリプト設定」の「ログインー般ユーザパスワー
		ド」に置き換えられます。
\$u2	ログイン管理者ユーザ ID	「スクリプト設定」の「ログイン管理者ユーザ ID」
		に置き換えられます。
\$p2	ログイン管理者ユーザパスワード	「スクリプト設定」の「ログイン管理者ユーザパスワ
		ード」に置き換えられます。

■ スクリプト例

以下はシャットダウンを実行するスクリプト例です。

rcv=login as:
snd=\$u1
rcv=password:
snd=\$p1
rcv=\$
snd=su
rcv=:
snd=\$p2
rcv=#
snd=init O

- スクリプト作成上の注意
- 改行から次の改行までを1行とみなします。
- 空白も1文字とみします。
- ・「rcv=」コマンド以前に受信した文字列は無視されます。
- ・ 全角文字は使用できません。制御コードなしの ASCII 文字のみで記述してください。
- ・ 大文字・小文字は区別されます。
- 空白行を含むことはできません。
- ・「snd=」に対して文字列"<CR>"を記述した場合は改行になります。
- 「\$u1」,「\$u2」,「\$p1」,「\$p2」,「<CR>」は文字列としては送信できません。
- ・「<CR>」を含む文字列は「rcv=」のパターンに指定できません。
- ・ 行数および1行あたりの文字数に制限はありません。
- 「rcv=」での受信待ちのタイムアウト処理は実行しません。Telnet や SSH のコネクションのタイムアウトにより切断されます。

注意

スクリプトの二重実行の禁止

スクリプト実行中は、他のスクリプトを実行できません。

→シャットダウン時の実行スクリプトが複数登録されている場合、登録順に1つずつ実行します。

→スクリプト実行中にイベント発生によりスクリプトが呼び出されても無視します。

5-9 スケジュール

UPS のスケジュール運転の設定をします。

メニューは「スケジュール登録」と「スケジュール設定」の2つで、「UPSの停止」、「UPSの停止/起動」、 「自己診断テスト」をスケジュール実行することができます。

参考

・設定を変更したら、必ず [適用] ボタンをクリックします。

- ・「UPS の停止」はシャットダウンパラメータ設定に基づいて、OS をシャットダウンした後、UPS を停止しま す。
- 「UPS の停止/起動」は UPS の停止動作(OS のシャットダウン、UPS の停止)の後、指定時間後に UPS を自動起動します。

・「自己診断テスト」は UPS の自己診断テスト(10 秒間の放電テスト)を実行します。

■ スケジュール登録

OMRON	
簡単設定	スケジュール登録
トップ	登録済みスケジュール 新規登録
シャットダウンパラメータ	運転項目 繰り返し スケジュール開始日 スケジュール開始時刻 起動 修正 削除 したのパ点上(2245 毎週 日火水大会 20-20 +12-00 (修正) 削除
スクリプト設定 ①	
スケジュール	
スケジュール登録	
スケジュール設定	人グソユール・豆 iv スケジュール運転項目 UPSの停止/起動
לים	
1124	● 第72030 ● 毎日
UPS起動設定	● 毎週 B B B 月 B B 日 八 曜日 二 水 曜日 二 木 曜日 二 金 曜日 二 土 曜日 ④ 毎 日 ④ 毎 日
その他設定(2)	
ログオフ	
へルプ	
	ステラコール開始日時=シャットダウン開始のタイシング 同日にスケジュール停止/記動設定する場合は、停止と記動の問題を1分以上あけて設定してください。
	▲ ←③スケジュール確認ボタン 通用 **ンセル

	項目名	説明
1	登録済みスケジュール	登録されたスケジュールのリストと概要を表示します。
		・[新規登録] ボタンをクリックすると画面下の「スケジュール登録」欄
		(②)が表示され、新しいスケジュールを作成できます。
		・登録済のスケジュールは[修正]、[削除]ボタンで編集、削除できま
		す。
		※スケジュールの登録件数は、最大 50 件です。
2	スケジュール運転項目	スケジュール実行する動作を「UPS の停止/起動」、「自己診断テスト」
		から選択します。

	項目名	説明
2	繰り返し	スケジュールの繰り返し動作を設定します。
		繰り返しなし:年月日指定の1回のみ
		毎日:365日繰り返す
		毎週(曜日を指定):指定曜日で毎週繰り返す
		毎月:指定日で毎月繰り返す
	例外設定	毎日/毎週/毎月で繰り返し設定した日のうち、スケジュールを実行し
		ない日(例外日)を設定します。
		カレンダーボタン(④)をクリックして例外日付を選択した後、
		[追加] ボタンで登録します。
		登録済の例外日は[修正]、[削除]ボタンで変更、削除できます。
		※例外日はスケジュール開始日(UPS 停止日)が対象です。起動日は対
		象になりません。
		※例外設定の登録件数は、最大 30 件です。
	スケジュール開始日時	UPS の停止(OS のシャットダウン)を開始する日時を設定します。
	UPS 起動	スケジュールで UPS が停止した後、自動再起動させる設定をします。
		UPS を再起動させる場合は「UPS 起動を有効にする」にチェックし、
		スケジュール開始時間から UPS を起動させるまでの時間を設定します。
		※UPS 停止と起動の間隔は、1 分以上空けて設定してください。
3	スケジュール確認ボタ	「スケジュール確認」ボタン(③)をクリックすると、現在のスケジュ
	ン	ール設定状況がカレンダーで確認できます。
		カレンダーを閉じるには、「スケジュール確認」ボタンをクリックします。
		スケジュール登録
		≤ 5月2017 > 日月火水木★金±
		30 2030 (存止 1 0830 起動 2 3 4 5 6
		7 20-80 (存止 8 0-830 花器約 9 0-830 花器約 10 0-830 花器約 11 0-830 花器約 12 0-830 花器約 18 20-30 (存止 20-30 (<footnote>{tr}))))))))))))))))))))))))))))))))))))</footnote>
		14 20:00 top⊥t is 08:30 £2547 is 08:30 £257 is 08:30 £277 is 08:30
		21 2003 (幕) 2033 (春) 2033 ({4}) 2033 ({
		2030 (F)E 2030 (
		「「「ノレノゾーではしつ」

注意

スケジュール動作

- ・設定画面操作中でもスケジュールは実行します。
- ・「繰り返しなし」の場合、実行済でも「登録済みスケジュール」リストには残ります。不要なものは削 除してください。
- ・「UPS の停止/起動」が同時刻に複数登録されている場合は、最後に登録したものが有効になります。

■ スケジュール設定

スケジュールシャットダウンを開始する前に警告を出す設定をします。

🌒 PowerAttendant Lite	- 1	×
OMRON		
簡単設定	スケジュール設定	
トップ	行用	直
シャットダウンパラメータ	スケジュールシャットダウン開始警告設定	
スクリプト設定	スケジュールシャットダウン開始警告 600 🔺 🔻 秒前	
スケジュール	適用 キャン	セル
スケジュール登録		
スケジュール設定		
שט		
1104		
UPS起動設定		
その他設定		
ログオフ		
へいつ		
このIEBRE ログオフ ヘリレプ		

項目名	説明
スケジュールシャット	スケジュールシャットダウン開始の警告画面を出す時間を設定します。
ダウン開始警告	(設定値:0~600 秒前/初期値:600 秒前)
	※[初期値]ボタンをクリックすると初期値「600」秒前になります。
	 ・・ ・・ ・・
	スケジュールシャットダウン開始まで 227 秒
	閉じる

参考

- ・スケジュール開始警告時間内に次のスケジュールの開始時刻が到達した場合、後から到達したスケジュールは無視します。
- ・スケジュール開始警告表示中にスケジュール開始警告時間の値を変更しても、実行中のスケジュールには 影響しません。

5	-10	ログ
	電源	の状態や発生するイベントを記録します。
	「イ	ベントログ」と「データログ」の2つのメニューがあります。
	参考	
	設定	を変更したら、必ず[適用]ボタンをクリックします。

■ イベントログ

本ソフトウェアと UPS で発生したイベントを表示、出力します。

🐑 PowerAttendant Lite		- 0	
OMRON			
簡単設定	イベントログ		
ትッ <mark>プ</mark>	期間設定		1
シャットダウンパラメータ	●日時 1週 ▼		Ί
スクリプト設定	O From 2017-02-19 ™ 2017-02-26		
スケジュール	. <u> </u>	通用	
ט ם	日時 イベン内容 2017-02-25 20:28:09 入力電源正常[OMRON-2 UPS(BN100T/COM4)]		1
イベントログ	2017-02-25 202301 入力電源異常[OMRON-2 UPS(EN100T/COM4)] 2017-02-25 202231 入力電源正常[OMRON-2 UPS(EN100T/COM4)] 2012-02-05 202231 法管理定常[OMRON-2 UPS(EN100T/COM4)]		L
データログ	2017-02-25 202217 通信15-[OMRON-2 UPS(BN100T/COM4)] 2017-02-25 202205 入力電源正常[OMRON-2 UPS(BN100T/COM4)]		L
1124	2017-02-25 20:21:56 入力電源異常[OMRON-2 UPS(BN100T/COM4)] 2017-02-25 20:21:26 入力電源正常[OMRON-2 UPS(BN100T/COM4)]		
UPS起動設定 ①	2017-02-25 2021:26 1目 11年2012(OMRON-2 DES(BN10017COM4)] 2017-02-25 2021:15 エージェント起動[OMRON-2] 2017-02-25 2021:11 エージェント時に(OMRON-2]		L
その他設定			1
ログオフ			L
ALT			L
			1
3	長初のページ 前ページ 次ページ 最後のページ 保存 削除 PDF出力	ログオブション	

	項目名	説明
1	期間設定	イベントログを表示する期間を設定します。
		日時、期間をラジオボタンで選択し設定します。
		・日時:プルダウンメニューから週単位で選択します。(1~15 週)
		・期間:開始日(From)と終了日(To)を年月日「YYYY-MM-DD」形式で
		入力するか、 📷 ボタンをクリックしてカレンダーから選択します。
		※ [適用] ボタンをクリックすると、画面下にイベントログリストを表
		示します。
2	イベントログリスト	指定された期間のイベントログを表示します。
3		
	グラフ 1 ボタン (⋿)	グラフの操作は、次ページ「グラフ表示」を参照してください。
	グラフ2ボタン (🛄)	グラフの操作は、次ページ「グラフ表示」を参照してください。
	ナビゲーションボタン	表示が複数ページに渡る場合[最初のページ]、[前ページ]、[次ページ]、
		[最後のページ]ボタンでページを切り替えます。
		ると、以下の階層に名前(EventlogCSVYYYYMMDDhhmm.zip)を付けて圧
		C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON¥PAL
		※YYYYMMDDhhmm(年目日時)のファイル名で 71P 圧縮して保存します。
		同名のファイルがある場合は上書きします。
	 [削除]ボタン	保存されているすべてのログデータを消去します。
	[PDF 出力] ボタン	イベントログを PDF 形式で出力します。[PDF 出力] ボタンをクリック
		すると、以下の階層に名前(EventLogPDFYYYYMMDDhhmm.zip)を付けて
		圧縮保存します。
		C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON¥PAL
		※YYYYMMDDhhmm(年月日時)のファイル名で ZIP 圧縮して保存します。
		同名のファイルがある場合は上書きします。
	[ログオプション] ボタン	イベントログの記録期間を設定します。
		プルダウンメニューで期間を選択し、[適用] ボタンをクリックします。
		(設定値:1~15 週/初期値:15 週)
		(→7)18/3(Ø
		イベントログオプション
		最大イベントログ記録時間 15 型
		通用 キャンセル
		※[初期値]ボタンをクリックすると、初期値に戻ります。

■ グラフ表示

[グラフ] ボタンをクリックすると以下のグラフが表示されます。



	項目名	
1	グラフ化	ログをグラフ化する期間をプルダウンメニューで選択します。
		「過去1週間/2 週間/3 週間/4 週間」から選択します。
2	イベント	グラフ化するイベントをプルダウンメニューで選択します。
		「すべてのイベント/通信エラー/オーバーロード/入力電源異常
		/バッテリ劣化/温度超過/バッテリロー」から選択します。
3	[設定] ボタン	[設定]ボタンを押すとグラフ表示します。

■ データログ

入力電源と UPS の状態を表示、出力します。

OMRON											
簡単設定	データログ										
トップ	UPS選択										
シャットダウンパラメータ	🖲 🗊 СОМ4	BN	1100T								
りプト設定	期間設定										
אר-ביצדא	●日時 1週		•								
יער	O From 2017-02-	19		Co 2017-02-2	6						
										`** (TT	
										週用	
イベントログ	項目	人刀 電圧(V)	出刀 電圧(V)	人刀 周波数(Hz)	出刀 周波数(Hz)	頁何 容量(%)	内部 温度("C)	ハックノッフ 時間(Min)	ハッテリ 電圧(V)	週用 ハッテリ 容量(%)	-
イベントログ	項日 最大値	人刀 電圧(V) 102.0	出刀 電圧(V) 102.8	人刀 周波数(Hz) 50.0	出刀 唐)波数(Hz) 50.0	<u></u> 百一百 月(何 (%) 2	内部 温度("C) 28.2	ハックアッフ 時間(Min) 454	ハッテリ 電圧(V) 54.4	週用 /\ッテリ 容量(%) 99	
イベントログ データログ	7 項日 最大値 最小値	人刀 電圧(V) 102.0 102.0	出刀 電圧(V) 102.3 102.3	入刀 周波数(Hz) 50.0 50.0	出力 周波数(Hz) 50.0 50.0	<u>員</u> 何 容量(%) 2 2	内部 温度(°C) 28.2 28.2	ハックアッフ 時間(Min) 454 454	ハッテリ 電圧(V) 54.4 54.4	週用 ハッデリ 容量(%) 99 99	
イベントログ データログ ベント	項目 最大値 最小値 平均値	会刀 電圧(V) 102.0 102.0 102.0	出刀 電圧(V) 102.8 102.3 102.3	入刀 周波数(Hz) 50.0 50.0 50.0	出刀 盾於皮数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0	貝何 容量(%) 2 2 2	内部 温度(°C) 28.2 28.2 28.2 28.2	ハックアップ 時間(Min) 454 454 454	八岁 了 岁 電圧(V) 54.4 54.4 54.4	適用 容量(%) 99 99 99	
イベントログ データログ ベント PS起動設定	項目 最大値 最小値 平均値 日時	人刀 電圧(V) 102.0 102.0 102.0 102.0 元力 電圧(V)	出力 電圧(v) 102.3 102.3 102.3 102.3 出力 電圧(v)	入刀 周波数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 入力 周波数(Hz)	出7 周波敗数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 出力 周波数(Hz)	具何 容量(%) 2 2 2 自荷 容量(%)	内部 温度(°C) 28.2 28.2 28.2 28.2 28.2 二 二 二	/1ック/ッフ B寺間(Min) 454 454 454 54 バックアップ B寺間(Min)	ハッテリ 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 「ハッテリ 電圧(V))週用 容量(%) 99 99 99 99 99	^
イバントロガ データロガ ベント PS起動設定	項日 最大値 最小値 平均値 日時 2017-02-25 20:25:11	<u> </u>	出力 電圧(V) 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3	入力 周波数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 入力 周波数(Hz) 50.0	出力 周波数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 日波数(Hz) 50.0	具何 容量(%) 2 2 2 2 <u>自</u> 荷 容量(%) 2	内部 温度(°C) 28.2 28.2 28.2 之 28.2 内部 温度(°C) 28.2	パックアップ 8時間(Min) 454 454 454 454 54 パックアップ 8時間(Min) 454	ハッテリ 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 でテリ 電圧(V) 54.4)週用 容量(%) 99 99 99 7595リ 容量(%) 99	^
イバントロガ データログ やント PS足動設定 の他設定	項目 最大值 最小值 干均值 日時 2017-02-25 20:25 11 2017-02-25 20:24:10	<u> </u>	出力 電圧(V) 102.3 102.3 102.3 102.3 世力 電圧(V) 102.3 102.3	入7 周波要数(Hz) 50.0 50.0 50.0 入力 周波要数(Hz) 50.0 50.0	出力 局読度数(Hz) 50.0 50.0 日 一 局読度数(Hz) 50.0 50.0	具何 容量(%) 2 2 2 2	28.2 28.2 28.2 28.2 28.2 注意(C) 温度(C) 28.2 28.2	/1ック/シップ 8寺間(Min) 454 454 454 454 554 8寺間(Min) 454 454	<u>パッテリ</u> 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 第二日(V) 54.4 54.4)適用 容量(%) 99 99 99 99 99 99 7容量(%) 99 99	Ŷ
イベントログ テータログ ベント PS起動設定 の他設定 (2)	現日 最大値 長小値 平均値 日時 2017-02-25 20:225:11 2017-02-25 20:20:25	<u>入力</u> 電圧(V) 102.0 102.0 102.0 入力 電圧(V) 102.0 102.0 102.0	出力 電圧(V) 102.3 102.3 102.3 102.3 世史(V) 102.3 102.3 102.3	入力 周波数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 入力 周波数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0	出力 周波策戦(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.	具(町 容量(%) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	内部 温度(C) 28.2 28.2 28.2 内部 温度(C) 28.2 28.2 28.2 28.2 28.2 28.2 28.2 28.2 28.2	7197797 8寺間(Min) 454 454 454 454 月子間(Min) 8寺間(Min) 454 454	<u>パッテリ</u> 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 第二日(V) 54.4 54.4 54.4	次回用 谷量(約) 99 99 99 99 パッテリ 容量(約) 99 99 99 99 99 99	^
イバントログ データログ ベント PS起動設定 の他設定 (2) ガオフ	項目 最大値 最小値 平均値 日時 2017-02-25 20:25:11 2017-02-25 20:25:20 2017-02-25 20:25:20 2017-02-25 20:25:20 2017-02-25 20:19:24	<u>入力</u> 電圧(V) 102.0 102.0 102.0 一 入力 電圧(V) 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0	出力 電圧(V) 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3	入) 周波数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	出力 周波数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.	具(町 容量(%) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	(内部) 温度(*C) 282 282 282 282 282 282 282 282 282 28	/192/97 8時間(Min) 454 454 454 454 454 月時間(Min) 454 454 454 454	<u>ハッテリ</u> 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 で受圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4		
イバントログ テータログ ペント PS起動設定 の他設定 20	現日 最大値 最小値 干均値 日時 2017-02-25 20:225:11 2017-02-25 20:225:10 2017-02-25 20:20:25 2017-02-25 20:1924 2017-02-25 20:1924 2017-02-25 20:1924	ヘフ 電圧(V) 102.0 102.0 102.0 102.0 電圧(V) 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0	出力 電圧(V) 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3	入力 周辺皮数(H2) 50.0 50.0 50.0 50.0 月辺皮数(H2) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.	出力 局波度数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 局波度数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	日 (第) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	(内部) 温度(*C) 282 282 282 282 282 282 282 282 282 28	/1927/97 時間(Min) 454 454 454 454 454 454 454 454 454 45	ハッテリ 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.	ノ 200 30 39 99 99 99 99 99 99 99 99 99	^
イバントロガ データログ へ入ト PS起動設定 の他設定 ジオフ リゴ	項目 最大信 最大信 最小信 2017-02-25 20251 2017-02-25 20255 2017-02-25 20225 2017-02-25 20225 2017-02-25 201225 2017-02-25 201823 2017-02-25 201824 2017-02-25 201825 2017-02-25 201825 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-25 2017-02-5 2017-02-5 2017-02-5 2017-02-5 2017-02-5 2017-0	<u> </u>	世 一 電 日 23 102.5	<u>入力</u> 周辺炭数(Hz) 50.0	田力 高法定数t(Hz) 50.0 5	具領 容量(%) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	^{(大)日約} 温度(*C) 28.2	小9건/97 454 454 454 454 454 454 454 45	ハッテリ 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.	지 (八) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	
イバントロガ データログ がへた PS足動設定 iの他設定 びオフ リルブ	項目 泉小信 最小信 日約 2017-02-25 202511 2017-02-25 202511 2017-02-25 20252 2017-02-25 201522 2017-02-25 201522 2017-02-25 201522 2017-02-25 201529	入力 電圧(v) 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0 102.0	出 102.3 102.	<u>入プ</u> 周辺定数1(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0	出力 局法度数(Hz) 50.0 50	再額(%) 容量(%) 2 2 2 2 2 3 名量(%) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	^{23日5} 温度(*C) 28.2 2	/ 1977/97 時間(Min) 454 454 454 454 454 454 454 454 454 45	ハッテリ 電圧(v) 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.	<u>지영구</u> 가) 영물 99 99 99 99 99 99 99 99 99 99 99 99 99	^
イバントロガ データロガ ペント PS起動設定 の他設定 グオフ JJJブ	現日 最大値 長小値 干均値 2017-02-25 202511 2017-02-25 20245 2017-02-25 20245 2017-02-25 20245 2017-02-25 20245 2017-02-25 201822 2017-02-25 201822 2017-02-25 201822 2017-02-25 201825	入力 電圧(∨) 102.0 102.0 102.0 102.0 入力 電圧(∨) 102.0	世 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3 102.3	入力 周辺定数(Hz) 50.0 50	出力 局法皮数(Hz) 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.0 50.	日本 容量(%) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	内部 温度('C) 282 282 282 282 282 282 282 282 282 28	/ ソフノアップ 専時間((Min) 454 454 454 454 454 454 454 45	/1977) 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.	ス型内 パッテリ 容量(%) 99 99 99 99 99 99 99 99 99 9	
- パントロガ データロガ パント PPS起動設定 その他設定 20 ガオフ ントレブ	現日 環大信 最大信 年か信 日時 2017-02-25 202511 2017-02-25 20251 2017-02-25 201520 2017-02-25 201520 2017-02-25 201520 2017-02-25 201520 2017-02-25 201520 2017-02-25 201520 2017-02-25 201520 2017-02-25 201520 2017-02-25 201520	入力 電圧(∨) 102.0 102.0 102.0 102.0 入力 電圧(∨) 102.0	 出力 電圧(v) 102.3 	入力 周決実数(Hz) 50.0 50.0 50.0 月に実数(Hz) 50.0	出77 周辺炭酸(Hz) 50.0 50.0 50.0 第0.0 5	内容量(%) 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	 (7日時) 温度(*C) 28.2 	/)ックアップ 当寺間(Min) 454 454 454 454 454 454 454 45	ハッテブ 電圧(V) 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.4 54.	지종 (X) (X) (X) (X) (X) (X) (X) (X) (X) (X)	Î

	項目名	説明
1	期間設定	データログを表示する期間を設定します。
		日時、期間をラジオボタンで選択し設定します。
		・日時:プルダウンメニューで週単位で選択します。
		・期間:開始日(From)と終了日(To)を年月日「YYYY-MM-DD」形式で
		入力するか、
		※ [適用] ボタンをクリックすると、画面下にデータログリストを表示
		します。
2	データログリスト	指定された期間のデータログを表示します。
		※上段に各データの最大値/最小値/平均値を表示します。
3		商用電源の電圧の数位を折れ線グラフで表示します。
	グラフボタン(🎦) 	グラフの操作は、次ページ「グラフ表示」を参照してください。
	ナビゲーションボタン	表示が複数ページに渡る場合 [最初のページ] [前ページ] [次ページ]
		[最後のページ] ボタンでページを切り替えます。
	[保存] ボタン	データログ(CSV 形式)を保存します。[保存] ボタンをクリックする
		と、以下の階層に名前(DataLogCSVYYYYMMDDhhmm.zip)を付けて圧縮保
		存します。
		C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON¥PAL
		※YYYYMMDDhhmm(年月日時)のファイル名で ZIP 圧縮して保存します。
		同名のファイルがある場合は上書きします。
	[削除] ボタン	保存されているすべてのログデータを消去します。
	[PDF 出力] ボタン	データログを PDF 形式で出力します。[PDF 出力] ボタンをクリックす
		ると、以下の階層に名前(DataLogPDFYYYYMMDDhhmm.zip)を付けて圧縮
		保存します。
		C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON¥PAL
		※YYYYMMDDhhmm(年月日時)のファイル名で ZIP 圧縮して保存します。
		同名のファイルがある場合は上書きします。
	[ログオプション] ボタン	データログの記録間隔等を設定します。
		プルダウンメニューで各値を選択し、[適用] ボタンをクリックします。
		・最大データログ記録時間:データログ記録期間
		(設定値:1~15 週/初期値 15 週)
		・記録間隔(商用運転時): 商用運転時のデータ記録間隔
		(最小値:5 秒/初期値 60 秒)
		・記録間隔(バックアップ運転時): バックアップ運転時のデータ記録
		間隔(最小値:5 秒/初期値 10 秒)

説明	
「データログオプション ※[初期値]ボ	

■ グラフ表示

[グラフ] ボタンをクリックすると以下のグラフを表示します。



	項目名	前時
1	グラフ化	ログをグラフ化する期間をプルダウンメニューで選択します。
		「過去1時間/12 時間/24 時間/1 週間」から選択します。
2	[設定] ボタン	[設定] ボタンをクリックするとグラフ表示します。

5-11 イベントアクション設定

本ソフトウェアや UPS でイベントが発生した際に、指定したアクションを実行することができます。

参考 ・設定を変更したら、必ず [適用] ボタンをクリックします。 ・スクリプトの詳細は、P.32「5-7 スクリプト設定」を参照してください。

OMRON		
鮮設定	イベントアクション設定	
ップ ルットダウンパラメータ	アクション情報 № アクションファイル名 修正	
のパト設定	1 スクリプト1 修正 2 スクリプト2 修正	
マケジュール ログ		
		EKAR A
アクション設定 IPS記動設定	 ◇ 「 情報 ○ 人力電源正常 ○ 通信確立 	高用運転を開始します。 無停電電源装置(UPS)と通信を開始しました。
他設定 ②	 □ エージェント使動 □ ロージェント使止 □ 自己診断結果:異常なし ○ バッテリ自動テスト結果:異常なし 	エージェントを起こ動のします。 エージェントを停止します。 テストの結果に異常がなく、正常に動作しています テストの結果に異常がなく、正常に動作しています
1ヴオフ	UUPS出力コンセント選択を変更しました Of特徴時間を変更しました Ofが少い間始速度と変更しました Ofが少い間始速度と変更しました Offには期間を変更しました	シャットダウンパラメータ)画面で設定が変更されま シャットダウンパラメータ)画面で設定が変更されま シャットダウンパラメータ)画面で設定が変更されま シャットダウンパラメータ)画面で設定が変更されま シャットダウンパラメータ
	DFYTFが入れな要認を1回ば交流しない。 DFント出力得上までの時間が変更しました UFS記録時代の出力コンセント運送時間が変更しました Windows終了モード注変更しました Disconceshi和記録がなず面、ましょ	じゃりゲッンパンラン制面面に設定が変更されま じゃりドゲンパンラン制面面で設定が変更されま [UPS起動/再起動画面で設定が変更されました じゃりドゲンパンメン制画面で設定が変更されました
		> 適用 キャンセル

	項目名	説明
1	アクションファイル名	スクリプト設定で登録した「スクリプト名称」を表示します。
		P.32「5-7 スクリプト設定」参照
	[修正] ボタン	[修正] ボタンをクリックすると下段(2)にイベントリスト
		を表示します。
2	イベントリスト	アクション実行のトリガーとなるイベントを指定します。
		イベントを「情報」、「警告」、「エラー」の3つに分類しており、
		分類毎の一括選択や個別に選択することができます。
		また、1 つのアクションに対して、複数のイベントを選択する
		こともできます。

5-12 UPS 起動設定

UPS 再起動の条件や動作などを設定することができます。



[初期値] ボタンをクリックすると、本ソフトウェアが持っている初期設定値に戻ります。 本ソフトウェアの初期値(UPS の工場出荷値とは異なる)は以下の通り。 UPS 自動再起動:する UPS 起動遅延時間:5秒 バッテリ容量:0% 出力開始遅延コマンド送信:する UPS コールドスタート機能:する

🗓 PowerAttendant Lite	- 0
OMRON	
簡単設定	UPS起動設定
トップ	中川時日 (1)
シャットダウンパラメータ	UPS再起動設定
	UPS自動再起動 する 🗸
7#\$"a =#	UPS起動遅延時間 5 ▲ ▼ 秒
	バッテリ容量 0 🔺 🔻 %
0	UPS 起動時の出力開始遅延時間
1/1/21-	出力開始)遅延コマンド送信 しない 🗸
UPS起動設定	出力コンセントA 0 ・ 秒
UPS起動設定	出力コンセントB 0 参
その他設定	
3	UPSコールドスタート
	UPS]-ルドスタート機能 しない ▼
ヘルプ	適用 キャンセル

参考

設定を変更したら、必ず [適用] ボタンをクリックします。

	項目名	説明
1	UPS 自動再起動	入力電源異常でシャットダウン後、復電した際の UPS の動作を
		設定します。
		以下の機種で設定が可能です。
		BZ35LT2、BZ50LT2、
		BW40T、BW55T、BW100T、BW120T、
		BN50T、BN75T、BN100T、BN150T、BN220T、BN300T、BN75R、BN150R、
		BN300R
		BN150XR、BU1002RW
		BU2002RWL、BU3002RWL、BU5002RWL
		BU3002R、BU5002R、BU3002RH
		BV55RE
		※UPS 再起動設定を UPS 本体の設定スイッチで行う機種では
		本項目は有効になりません。
	UPS 起動遅延時間	復電してから UPS が起動を開始するまでの遅延時間を設定しま
		す。(設定値:0~999 秒)
		※本機能を持たない機種では有効になりません。
	バッテリ容量	バッテリの充電量が、設定した容量以上にならないと、UPS を
		起動させない設定です。(設定値:0~100% /10%刻み)
		※UPS 側の工場出荷値は 0%です。
		※本機能を持たない機種では有効になりません。
2	UPS 起動時の出力開始遅延時間	出力コンセント制御機能のある UPS で、コンセントグループご
		とに、電源出力の開始時間に遅延をかける設定です。
		接続機器への電源供給開始に時間差を設けたい場合に使用し
		ます。遅延時間を設定する場合は、「出力開始遅延コマンド送
		信」で「する」を選択します。
		※本機能を持たない機種では有効になりません。
3	UPS コールドスタート	UPS のコールドスタート機能の設定をします。
		コールドスタートはAC 電源のない所でも、UPS を起動させる(接
		続機器に電源を供給する)機能です。
		コールドスタート「する」 設定では、AC 電源に接続しなくても、
		UPS の電源スイッチを ON にすることでバックアップ運転 (バッ
		テリ出力)を開始します。
		※コールドスタートで運転している場合、バッテリ残量がなく
		なったところで UPS は停止します。
		※本機能を持たない機種では有効になりません。

6. その他設定

「その他設定」メニューについて説明します。

6-1 UPS 設定

UPS 自体の機能や内蔵バッテリの交換日について設定します。

参考

設定を変更したら、必ず〔適用〕ボタンをクリックします。

👻 PowerAttendant Lite		- 0
OMRON		
簡単設定	UPS設定	
トップ	UPS選択	
シャットダウンパラメータ	О ПО СОМ4 ВИ100Т	
スクリプト設定	パッテリ自動テスト	
スケジュール	する → 通用 キャンセル	
<u>ت</u>	出力電圧/入力感度	
1104	(V) 100 ▼ 感度 /標準感度 ▼ 通用 キャンセル	
UPS起動設定		
その他設定	回のハッナリ史用用始日(文換日)	
UPS設定	パッテリ交換日: 2016-06-30 16	
通信設定	前回のバッテリ交換日: 2016-06-30	
手動操作	次回のバッテリ文換日(予定日):	
コマンド送信	通用	キャンセル
ユーザアクセス権設定		
同期設定		
ログオフ		
へいご		

	項目名	
1	バッテリ自動テスト	UPS が4週間周期で行うバッテリ自動テストの設定をします。
		バッテリ自動テストは、内蔵バッテリの能力を定期的にチェックする
		機能です。
		※本項目を UPS 本体の設定スイッチで変更する機種では、有効にな
		りません。
2	出力電圧(V)	UPS の出力電圧を設定します。
		UPS をスタンバイ状態(AC 入力 ON/電源スイッチ OFF)にして設定を
		変更します。
		※制御している UPS からコンピュータの電源をとっている場合は、コ
		ンピュータを別電源で起動した後、UPS の電源スイッチを OFF にして
		設定を変更してください。
		※本機能を持たない機種では有効になりません。
	入力感度	UPS の入力電圧感度を設定します
		UPS をスタンバイ状態(AC 入力 ON/電源スイッチ OFF)にして設定を
		変更します。
		※制御している UPS からコンピュータの電源をとっている場合は、コ
		ンピュータを別電源で起動した後、UPS の電源スイッチを OFF にして
		設定を変更してください。
		※本機能を持たない機種では有効になりません。
		※入力電圧感度の詳細は UPS の取扱説明書を参照してください。
3	UPS 使用開始日	UPS 使用開始日を設定します。
		「YYYY-MM-DD」形式で入力するか、 🗽 ボタンをクリックし、カレンダ
		一から選択します。
	バッテリ交換日	バッテリを交換した日を設定します。
		「YYYY-MM-DD」形式で入力するか、 🗽 ボタンをクリックし、カレンダ
		一から選択します。
	次回のバッテリ交換日	UPS のバッテリ期待寿命や使用環境、使用方法等から、バッテリ交換の
	(予定日)	予定時期を決めて、設定します。
		「YYYY-MM-DD」形式で入力するか、顺 ボタンをクリックし、カレンダ
		一から選択します。

6-2 通信設定

UPS と本ソフトウェアの通信に関する設定をします。

🖏 PowerAttendant Lite	- 0 3
OMRON	
簡単設定	通信設定
トップ	→ 辺界街道
シャットダウンパラメータ	LIPS 通信ポート
スクリプト設定	No 通信术一下 UPS型式 削除
אר-ביצדאד 🚺	I COMY DIVIDUI 1098
שם	
1101	
UPS起動設定	UPS検出時のCOM検索:すべてのCOMボートを検索する ・ ボート追加 自動選択
その他設定	ネットワーク設定
UPS設定	※本項目を変更した場合、設定を有効にするために自動的にログオフします。再度ログインしてください。 アクセスポート 50001 【備奇】 スタンドアロンで使用する場合は「0」と入力してください。
THE ADDRESS OF MAN	
通信設定	ブロードキャスト する
手動操作	
通信設定 手動操作 コマンド送信	プロードキャスト する プーク更新時間 データ更新時間 30 ▲ ▼ む
通信設定 手動操作 3 コマンド送信 ユーザアクセス権設定 4	プロードキャスト する □ 外部からの接続禁止 データ更新時間 ・ データ更新時間 30 ▲ ▼ お ログオフ時間 ・
通信設定 手動操作 3 コマンド送信 ユーザアクセス権設定 (利) 同期設定	フロードキャスト する □ 外部からの接続禁止 データ更新時間 30 ▲ ▼ お ログオフ時間 30 ▲ ▼ 分
<u>通信設定</u> 手動操作 コマンド送信 ユーザアクセス権設定 (月) 別設定 ログオフ	プロードキャスト する ● 外部からの接続禁止 データ更新時間 データ更新時間 ログオフ時間 ログオフ時間 ログオプ時間 ログオプ時間 通用

参考

- ・設定を変更したら、必ず [適用] ボタンをクリックします。
- ・[初期値] ボタンをクリックするとネットワーク設定、データ更新時間、ログオフ時間を初期値に戻し ます。

	項目名	説明		
1	通信ポート	UPS が接続されている通信ポートを表示します。		
	UPS 型式	接続された UPS の型式を表示します。		
	[削除] ボタン	UPS が接続されている通信ポート(COM ポート)を削除します。		
		※通信ポートを削除すると UPS との通信が切断されます。		
		※USB ポートは削除できません。		
	UPS 検出時の COM 検索	UPS 自動検出時の検索対象ポートを設定します。		
		各選択肢に対する動作は以下の通りです。		
		COM ポートは検索しない USB ポートのみ検索する		
		指定された COM ポートのみ	登録された COM ポート→USB ポー	
		検索する	トの順で検索する	
		すべての COM ポートを	USB ポート→COM ポートの順で検	
		検索する	索する	

	項目名	
1	[ポート追加] ボタン	COM ポートを固定する設定です。
		「UPS 検出時の COM 検索」欄で「指定された COM ポートのみ検索する」
		を選択し、[ポート追加] ボタンをクリックします。
		UPS通信ポート
		No 通信第ペート UPS型式 資用除 1 COM3 BY50FW 預用除
		下段に「通信ボート設定」画面が表示されたら、COM ボートを選択し、
		[週用] ボダンをクリックします。
		通信ポート設定
		適用
	[自動選択]ボタン	「UPS 検出時の COM 選択」で選択した動作で UPS を自動検出します。
2	アクセスポート	本ソフトウェアのアクセスポート番号を設定します。
		初期設定は 50001 ポートです。
		※「0」を選択するとアクセスポートを閉じます。スタンドアロンで使
		用する場合は「0」を設定します。
	ブロードキャスト	本ソフトウェアのブロードキャストの設定をします。
		※ブロードキャストを停止にすると、エージェントー覧画面に自分以
		外のエージェントを表示しなくなります。
	外部からの接続禁止	リモートコンピュータからの操作を禁止します。
(3)	アータ更新時間	モニタ画面のテータを更新する間隔を設定します。
4	ロソオ ノ吁旧	エーンエントからロンオン9つ吁间を設定しまり。

参考

ネットワーク設定の変更時は、設定を有効にする為に一度ログオフします。必要であれば、再度ログインし てください。

6-3 手動操作

各種手動設定について説明します。

🌒 PowerAttendant Lite	- 🗆 X
OMRON	
簡単設定	手動操作
トップ	UPS選択
シャットダウンパラメータ	
スクリプト設定	
スケジュール	ブザーテスト フサーを無効にする ▼
روں (2)	即時シャットダウン #19
11/21-	
UPS起動設定	
その他設定	結果
UPS設定	出力コンセントA
通信設定 ④	開始 停止 ログ:
手動操作	出力コンセントB
コマンド送信	開始 停止 ログ:
ユーザアクセス権設定	出力コンセントロ
同期設定	開始停止ログ
כגינים (5)	設定情報
N17	インボート エウスポート

	項目名	説明		
1	[ブザーテスト] ボタン	UPS のブザーを鳴らします。		
	ブザーの設定	UPS のブザー鳴動状態を該	定します。	
		ブザーを無効にする	全てのブザーを鳴らしません。	
		ブザーを無効にする	入力電源異常とバッテリ交換表示時	
		(バックアップ中の	のブザーを鳴らしません。	
		み)	UPS 異常時のブザーは鳴らします。	
			全てのブザーを鳴らします。	
		フリーを有x加にする 	(UPSの工場出荷値)	
2	即時シャットダウン	 本ソフトウェアによる OS と UPS のシャットダウンを実行します。		
		 以下の警告画面で [OK] ボ	タンをクリックすると、設定した待機時間 (秒)	
		後にシャットダウンを開始します。		
		빈 即時シャットダウン	- 🗆 X	
		即時シャットダウンを よろしいですか? 待機時間 60 ▲	】 ■ 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10	
		OK	キャンセル	
		※「即時シャットダウン」	で UPS を停止した場合、再起動するには、	
		UPS 本体の電源スイッチ	-をOFF∕ONします。	

	項目名	説明	
3	自己診断テスト	UPS の自己診断テスト(10 秒間の放電テスト)を実行します。	
		結果は以下のように表示されます。	
		・成功 (yyyy/mm/dd hh:mm)	
		・テスト結果異常("ハードウェア異常") yyyy/mm/dd hh:mm	
		・テスト結果異常("バッテリ劣化") yyyy/mm/dd hh:mm	
4	出力コンセント	出カコンセント制御機能をもった機種で、出カコンセント A/B/C の電	
		源出力の開始/停止(ON/OFF)を実行します。	
		※出カコンセント制御機能を持たない機種では、本項目は有効になりま	
		せん。	
5	設定情報	本ソフトウェアの設定値をインポート/エクスポートします。	
		スホートされます。ファイル名は「APP_Settings.zip」固定です。	
		C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON¥PAL	
		 「インポート」ボタンをクリックすると、以下の階層から保存されてい	
		る設定値情報がインポートされます。	
		C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON¥PAL	
		※設定値のインポート後はエージェントの再起動が必要です。	
		🖗 PAL ? 🗙	
		設定内容を反映するにはタスクトレイアイコンからエージェントを再起動してください。	
		ОК	
		警告画面が出たら [OK] ボタンをクリックし、以下の手順で再起動し	
		てください (P.24「5-1 エージェントの停止/起動」参照)。	
		①タスクトレイアイコンを右クリックし「エージェント停止」を選択	
		②アイコンに赤×がつくのを確認する	
		③アイコンを右クリックし「エージェント起動」を選択	
		④アイコンの赤×が消えるのを確認する	
		以上でエージェントの再起動は完了です。	

注意

UPS 設定インポート時の注意

UPS 設定の値を設定ファイルでインポートする場合は、先に「同期設定」を「PAL の設定を優先する」に変更してください。

「同期設定」が「UPS 内部の設定を優先する」になっている場合は、UPS 内部の設定が有効になります。同期設定については P.56「6-6 同期設定」を参照してください。

6-4 コマンド送信

UPS に直接コマンドを送信します。

参考

オムロン電子機器カスタマサポート等で指示があった場合使用してください。

🖏 PowerAttendant Lite	- 🗆 X
OMRON	
簡単設定	コマンド送信
トップ	UPS選択
シャットダウンパラメータ	COM4 BN100T
スクリプト設定	אעדב
スケジュール	メンテナンスまたはカスタマーサポートが使用する機能です。
לים	לגאעדב
1701 (1)	SI?
UPS起動設定	送信 1195からの広志
その他設定	BNIOT
UPS設定	
通信設定	
手動操作	
コマンド送信	
ユーザアクセス権設定	
同期設定	
ログオフ	
へいざ	

	項目名	説明
1	コマンド入力	UPS のコマンドを入力して[送信]ボタンをクリックします。
	UPS からの応答	UPS からのレスポンスが表示されます。

参考

6-5 ユーザアクセス権設定

エージェントにログイン可能なユーザ(ログイン ID)の追加登録、修正、削除をします。

記会も亦再したら	ルギ	「盗田」	ギタンホタリックレキオ
設定を変更したら、	死 9	「適用」	ハランをソリックします。

빈 PowerAttendant Lite		- 0
OMRON		
簡単設定	ユーザアクセス権設定	
トップ		新規登録
シャットダウンパラメータ	ログインID アクセス権限 修正 削除 Admin フルアクセフ 修正 削除	
スクリプト設定		
スケジュール ()		
ログ		
1101		
UPS起動設定		
その他設定	ユーザアクセス権設定	
UPS設定	ログインID:	^
通信設定 ②	パスワード □ クマドドッジス フラゴン設定 パスワードの確認入力: □ ス別ブト設定	
手動操作	アクセス権限 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
コマンド送信	○リードオンリー □ イペントロヴ ○ サフタレ □ データログ	~
ユーザアクセス権設定	11 通用	キャンセル
同期設定		
ログオフ		
∧⊪-1		

	項目名	説明		
1	登録済ユーザー覧	登録されているユーザの一覧を表示します。		
		※ユーザの登録件数は、	※ユーザの登録件数は、最大 10 ID です。	
	[ログ] ボタン	ユーザを選択して[ログ]ボタンをクリックします。		
		選択したユーザの操作ログ(「アカウントを追加」、「アカウントを修正」、		
		「アカウントを削除」)を表示します。		
	[新規登録] ボタン	[新規登録] ボタンをクリックします。下段の「ユーザクセス権設定」画		
		面(2)で、新しいアカウントを登録します。		
2	ログイン ID	新しいアカウントを設定します。		
	/パスワード			
	アクセス権限	ユーザのアクセス権限をラジオボタンで選択します。		
		フルアクセス	すべての設定・変更が可能です。	
		リードオンリー	設定内容の閲覧のみ可能です。	
		カスタム	項目別に権限を与える設定です。	
			設定・変更可能な項目を、右枠のチェック	
			ボックスで選択します。	

6-6 同期設定

本ソフトウェアには UPS 内部の設定を変更する機能があり、本項目では UPS 内の設定値と本ソフトウェアの設定値の優先順位を設定します。二つの設定値に差がある場合、優先された設定(UPS 又は本ソフトウェア)で設定値を上書きします。

参考

関連する UPS 内部の設定は以下の項目を参照してください。 P.17「4-4 シャットダウンパラメータ設定」→「入力電源異常時の最大バックアップ時間」 P.46「5-12 UPS 起動設定」→「UPS 再起動設定」、「UPS コールドスタート」 P.48「6-1 UPS 設定」→「バッテリ自動テスト」、「出力電圧/入力感度」、「バッテリ交換日」

🖲 PowerAttendant Lite	- 🗆 X
OMRON	
簡単設定	同期設定
トップ	
১৯৬৮ উণ্ডস্যল্য-৬ 🚺	優先度 UPS内部の設定を優先する マ
スクリプト設定	適用 キャンセッル
スケジュール	
שט	
11/21-	
UPS起動設定	
その他設定	
UPS設定	
通信設定	
手動操作	
コマンド送信	
ユーザアクセス権設定	
同期設定	
ログオフ	
へルプ	
ログオフ ヘルプ	

	項目名	
1	優先度	「UPS 内部の設定を優先する」と「PAL の設定を優先する」から選択し、[適
		用]ボタンをクリックします。
		※「PAL の設定を優先する」は、本ソフトウェアで持っている値を UPS 側に
		書き込みます。

注意

本ソフトウェアの設定情報を使って UPS の内部設定を変更する場合は、「PAL の設定を優先する」を「適用」 させた後、設定情報をインポートしてください。

BN-T/BN-R シリーズで出力コンセントB又はCの出力開始遅延時間をUPS側のLCDメニューで細かく(1秒単位 等)設定される場合は、「UPS 内部の設定を優先する」を選択してください。

P.46「5-12 UPS 起動設定」→「UPS 起動時の出力開始遅延時間」参照

7. アンインストール

本ソフトウェアのアンインストール(削除)方法について説明します。

7-1 アンインストールの前に

- ・Administrator 権限のあるユーザ名でコンピュータにログインしてください。
- ・起動している他のアプリケーションを終了してください。

7-2 アンインストール

「スタート」ボタン→「コントロールパネル」を開きます。

🖭 コントロール パネル			– 🗆 ×
← → ∽ ↑ 🖭 > コントロール パネル			✓ U
コンピューターの設定を調整します		表示方法: カテゴリ 🔻	
	システムとセキュリティ コンピューターの状態を確認	<u>.</u>	ユーザー アカウント アカウントの種類の変更
	ネットワークとインターネット ネットワークの状態とタスクの表示		デスクトップのカスタマイズ _{テーマの変更}
-0	ハードウェア デバイスとブリンターの表示 デバイスの追加 共通で使うモビリティ設定の調整	٢	時計、言語、および地域 言語の追加 入力方法の変更 日付と時刻の設定 日付、時刻、または数値の形式の
ð	プログラム プログラムのアンインストール ♥ Windows の機能の有効化また は無効化	G	変更 コンピューターの簡単操作 設定の提案の表示 視覚ディスプレイの最適化

プログラム内の「プログラムのアンインストール」をクリックします。



③ 「PowerAttendant Lite」をダブルクリックします。



④ [はい(Y)] ボタンをクリックします。

PowerAttendant Lite - InstallShield Wizard			
選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか?			
はい(<u>Y</u>) いいえ(<u>N</u>)			

※削除の進行状況を表示しますので、そのまま待ちます。

PowerAttendant Lite - InstallShield Wizard	×
セットアップ ステータス	Z
InstallShield Wizard は PowerAttendant Lite を削除しています	
C.¥¥OMRON¥PAL¥QtQuick¥Controls¥qtquickcontrolsplugin.dll	
InstallShield	+ c) and
	キャンセル

⑤ [完了] ボタンをクリックします。

PowerAttendant Lite - InstallShield Wizard			
Ľ	アンインストール完了 InstallShield Wizard は PowerAttendant Lite のアンインストールを完了 しました。		
	< 戻る(B) 完了 キャンセル		

以上で Power Attendant Lite の削除は終了です。

参考

 ・上記手順で Power Attendant Lite の削除は完了ですがイベントログやデータログ、スクリプトファイル等が 保存されているフォルダは残してあります。
 これらも完全に削除する場合は、以下の階層の「OMRON」フォルダを削除してください。
 C:¥Users¥Public¥Documents¥OMRON
 ・Power Attendant Lite は上記手順の他に、インストールされているものと同じバージョンの Setup. exe を起

動してアンインストールすることができます。

本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。 本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社

© OMRON SOCIAL SOLUTIONS Co., Ltd. 2017

K1L-D-17001J